

保存版

移行措置時期に

必見!

# 指導要録 Q&Aと記入文例 ＋ 特別の教科 道徳

平成**30**年度・平成**31**年度  
(2018年度) (2019年度)

白梅学園大学大学院 特任教授

巻頭言 無藤 隆

狛江市立狛江第三小学校 校長

監修 渡辺秀貴

筑波大学附属小学校 教諭

監修 加藤宣行



学ぶことが好きになる。

光文書院

# 指導要録 Q&A と記入文例

## + 特別の教科 道徳

### 第1章 特別の教科 道徳の学習評価について

- 巻頭言 2
- 道徳の学習評価に関する Q&A 3～5

### 第2章 指導要録・各欄の記入のポイント

- 様式1（学籍に関する記録） 6
- 様式2（指導に関する記録） 7～12
- 小学校児童指導要録（参考様式） 13～15

### 第3章 特別の教科 道徳 の記入文例

16～19

### 第4章 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の記入文例

20～38

【資料】道徳科における評価の在り方 39

【資料】学習評価に関する資料 ①② 40・41

光文書院

白梅学園大学大学院 特任教授 無藤 隆

学習評価の基本的な考え方は、従来のあり方を継承しつつ、新たな資質・能力の考え方を踏まえ、子どもの良さを伸ばすことを目指すものである。（以下、学習指導要領総則および道徳の解説書による。）

そもそも、学習評価は、学校における教育活動に関し、児童の学習状況を評価するものであり、どういった力が身に付いたかという学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、子ども自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするためである。したがって、評価に当たっては、いわゆる評価のための評価に終わることなく、教師が子どものよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、児童が学習したことの意義や価値を実感できるようにすることで、自分自身の目標や課題をもって学習を進めていけるようにするのである。

今回の改訂では、各教科等の目標を資質・能力の三つの柱で再整理しており、目標に準拠した評価を推進するため、観点別学習状況の評価について、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理することとしている。その際、ここでいう「知識」には、個別の事実的な知識のみではなく、それらが相互に関連付けられ、さらに社会の中で生きて働く知識となるものが含まれている。また、資質・能力の三つの柱の一つである「学びに向かう力、人間性等」には①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価（学習状況を分析的に捉える）を通じて見取ることができる部分と、②観点別学習状況の評価や評価にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価（個人のよい点や可能性、進歩の状況について評価する）を通じて見取る部分があることにも留意する。

なお、このような資質・能力のバランスのとれた学習評価を行っていくためには、指導と評価の一体化を図る中で、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動を評価の対象とし、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行っていく。

道徳教育における評価も、常に指導に生かされ、結果的に児童の成長につながるものでなくてはならない。子どものよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにするのであり、他者との比較ではなく児童一人一人のもつよい点や可能性などの多様な側面、進歩の様子などを把握し、年間や学期にわたって児童がどれだけ成長したかという視点を大切にする。「特別の教科 道徳」においては、特に、児童・生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。道徳科において養うべき道徳性は、児童の人格全体に関わるものであり、数値などによって不用意に評価してはならない。したがって、教師は道徳科においてもこうした点を踏まえ、それぞれの授業における指導のねらいとの関わりにおいて、子どもの学習状況や道徳性に係る成長の様子を様々な方法で捉えて、個々の子どもの成長を促すとともに、それによって自らの指導を評価し、改善に努めることとする。

道徳科授業において子どもに考えさせることを明確にして、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める」という目標に掲げる学習活動における子どもの具体的な取り組み状況を、一定のまとまりの中で、子どもが学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を適切に設定しつつ、学習活動全体を通して見取るようにする。その際、個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価とすることや、他の子どもとの比較による評価ではなく、子どもがいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行うのである。

# 道徳の学習評価に関する Q & A

千葉大学教育学部附属教員養成開発センター教授 土田 雄一

## Q 何のために道徳科の評価をするのですか？

A 今回の学習指導要領の改訂で、道徳の時間が「特別の教科 道徳」となり、検定教科書の使用とともに、「学習の評価」を記述式ですることになりました。これまでも道徳の時間の評価はしてきたのですが、通知表や指導要録への記述欄はなかったので、初めて記録として残す「学習の評価」となります。

道徳科の評価の目的は2つあります。①教師の授業改善に役立てる評価（授業の評価）②児童の成長を支える評価（児童の評価）です。「指導と評価の一体化」と言われるように、教師の授業改善に向けた評価は、児童の変容にもつながる大切な評価です。児童への評価は、道徳性の育成のために、児童が自らの成長を実感し、意欲向上につなげるための児童の成長を支えるためのものです。

## Q 道徳科の評価と他の教科の評価とはどう違うのですか？

A 「学習の評価」というと、成績を付けることをイメージします。成績は「どのくらい理解しているか」「どのくらいできるか（技能）」等、到達目標や評価基準に照らし合わせて、A・B・C等と「順位づけするもの」とであると捉えがちです。

しかし、道徳科の評価については、その評価に対する考え方を変えなくてはなりません。

今回の学習指導要領では「児童（生徒）の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすように努める必要がある。ただし、数値による評価は行わない」とし、従来の教科の評価とは異なる点が示されています。これは「道徳科の評価」を行わないのではなく、道徳科の目標である「道徳性の育成」は、児童の人格全体に関わるものであり、それを数値等によって不用意に表してはならないことを特に明記したものです。

では、それはどのような評価なのでしょう。

それぞれの授業における道徳的なねらいとの関わりにおいて、児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子をさまざまな方法で捉えて、個々の成長を促すことを目指しています。それは、他者との比較ではなく、一人一人の子ともたちが道徳科の学習を通して、学んだこと、成長したことを「大きくりのまとまり」で捉えた「励まし伸ばす」「個人内評価」なのです。

## Q 「道徳性の評価」は具体的にどうしたらよいのでしょうか？

A 「道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲及び態度を諸様相とする内面的資質」（「小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編」29.6）です。このような道徳性が養われたかどうかは、1時間の授業だけではわからないことはもちろん、容易に判断できるものではありません。

だからこそ、大きくりのまとまり（一定の期間内）で見取る必要があり、その評価の妥当性と信頼性を担保する必要があるのです。

また、前述の学習指導要領解説道徳編では、「道徳性の諸様相である道徳的判断力、心情、意欲及び態度の

それぞれについて分節し、学習状況を分析的に捉える観点別評価を通じて見取ろうとすることは、児童生徒の人格そのものに働きかけ、道徳性を養うことを目標とする道徳科の評価としては妥当ではない」としています。

つまり、道徳性は総合的なものであるから、観点別評価のようにそれぞれについて見取って分けて示すものではないのです。

さらに「個々の内容項目ごとではなく、大くくりのまとまりを踏まえた評価」をすることが示されており、「成長を積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行うこと」が求められています。

その具体化のためには、児童生徒の具体的な取り組み状況を、一定のまとまり（期間）の中で、児童生徒が学習の見通しを立てたり学習を振り返ったりする活動を適切に設定しつつ、学習活動全体を通して見取ることが必要です。つまり、学習の当初に「見通しを立てる学習活動」や一定期間後に「学習を振り返る活動」を適切に設けることが重要となります。

それらの活動を通して、「道徳性の諸様相の成長」を見取ることができるとよいでしょう。そして、それには後述するいくつかの手立てが必要となりますし、子どもたち自身の「自己評価」も大切です。

## Q 「評価」の妥当性と信頼性を担保するにはどうしたらよいのでしょうか？

A 児童の道徳性の評価を担任教師が一面的な捉えで評価してしまうことは「評価の信頼性」が十分とは言えないでしょう。道徳科の評価を推進するには、学校の組織的・計画的な評価が重要です。たとえば、校長及び道徳推進教師のリーダーシップのもと、学年ごとに評価のために集める資料や評価方法等を明確する、評価の視点等について共通理解をしておく、評価資料を蓄積する等、組織的・計画的に進めることが求められています。

このような、組織的・計画的な取り組みの蓄積と定着が道徳科の評価の妥当性、信頼性の担保につながります。

## Q よりよい「評価」のために必要な手立てにはどのようなものがありますか？

A まず、教師と子どもたちの信頼関係の構築が必要です。あたりまえのことですが、道徳科の授業だけでなく、すべての教育活動の中で児童との信頼関係を基盤とした児童の共感的理解が見取りを信頼性のあるものにします。

次に、根拠となる資料の「蓄積」です。ワークシートや道徳ノート等、1時間ごとの積み重ねがある様々な資料を残しておきましょう。そして、その1時間ごとのワークシートや道徳ノートの記述に対して、教師が「認め、励まし伸ばす評価」をしていくことが子どもたちの道徳性の育成に大きく関わってきます。授業内での関わりはもちろん、ワークシート等へのコメント等も大切な評価です（形成的評価）。それらを総合的に教師が見取る（総括的評価）だけでなく、子どもたち自身が一定の期間の学びを蓄積した資料をもとに振り返り、自分の成長を実感していく時間（自己評価）も重要です。

また、発言が多くない子や文章にすることが苦手な子どももいます。教師や他の児童の発言を聞き入る態度や考えを深めようとしている態度にも着目する等、記述以外の点にも注目することも重要です。

ここで大切なのは、蓄積した記録物等は、そのものを評価するのではなく、学習過程を通じていかに道徳的価値の理解を深めようとしていたか、自分との関わりで考えたか等の「成長の様子を見取るためのものであること」を留意しなくてはなりません。

さらに、担任教師だけでなく、子どもたちに関わる他の教師の複数の目で子どもたちの変容、成長を見取り、評価に対して共通認識をもつこと等は、評価を組織的に進めるための一つの方法として効果的でしょう。

## Q 「特別の教科 道徳」の評価と「行動の記録」「総合評価」とはどう違うのですか？

A 指導要録に設けられている記述欄を見ると分かりやすいかもしれません。新しい指導要録には「特別の教科 道徳」の「学習状況及び道徳性に係る成長の様子」を学年ごとに記述式で記入する欄が設けられています。まず、「学習状況」が中心ですから、授業を通して「学んだことや学んでいる姿、態度、考え方の変容」を記述することになります。

「思いやりのある親切な行動」は、「行動の記録」や「総合所見」に記述されるものです。「特別の教科 道徳」の評価欄には、「そのような行動を生むもととなった考え方の変化、道徳的価値の理解の深まり、多角的な物の見方への成長、実践意欲や態度等」を「個人の成長」として記述するとよいでしょう。「総合所見」には、道徳科の学びが日常生活へと波及した様子（言動の変容等）を具体的に記述しましょう。

## Q 特別な配慮が必要なケースはどのように対応したらよいのでしょうか？

A 発達障害等のある児童生徒に対しては、その子のもつ「困難さの状態」を踏まえた配慮が求められています。そして、「個人内評価」をすることを求められています。「できたか」よりもその子なりの変容を適切に見取って本人に返すことが重要です。

同様に異なる文化的背景をもつ外国につながる児童や日本語の理解が十分ではない児童、海外から帰国した児童等にも配慮が必要です。

要は、一人一人の状態の理解と共感的な温かい関わりを通して、その子の成長を個人内評価として見取ることが重要なのです。



## 第2章

## 指導要録・各欄の記入のポイント

### 様式1 (学籍に関する記録)

- 原則として学齢簿の記載に基づき、学年当初及び異動の生じたときに記入する。

小 学 校 児 童 指 導 要 録 (参考様式)

様式1 (学籍に関する記録)

区分	学年	1	2	3	4	5	6
学 級							
整理番号							

  

学 籍 の 記 録		学 年 入 学	
ふりがな		平成 年 月 日	第 1 学年 入学
氏 名			第 学年 編入学
性 別			
生年月日	平成 年 月 日生	平成 年 月 日	第 学年 転入学
現住所			
転入学		平成 年 月 日	
転学・退学等		(平成 年 月 日)	
卒業		平成 年 月 日	
進学先			
入学前の経歴			
学 校 名 及 び 所 在 地 (分校名・所在地等)			
年 度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
区分 学年	1	2	3
校長氏名印			
学級担任者氏名印			
年 度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
区分 学年	4	5	6
校長氏名印			
学級担任者氏名印			

小学校に入学するまでの教育又は保育関係の略歴を記入する。なお、外国において受けた教育の実情なども記入する。

児童が第1学年に入学した年月日を記入する。

第1学年の中途又は第2学年以上の学年に、在外教育施設や外国の学校等から編入学した場合、又は就学義務の猶予・免除の事由の消滅により就学義務が発生した場合について、その年月日、学年及び事由等を記入する。

他の小学校等から転入学してきた児童について、転入学年月日、転入学年、前に在学していた学校名、所在地及び転入学の事由等を記入する。

校長が卒業を認定した年月日を記入する。

進学先の中学校又は特別支援学校中学部の学校名及び所在地を記入する。

他の小学校等に転学する場合には、転学先の学校が受け入れた日の前日に当たる年月日、転学先の学校名、所在地、転入学年及びその事由等を記入する。また、学校を去った年月日についても併記する。

在外教育施設や外国の学校に入るために退学する場合又は学齢(満15歳に達した日の属する学年の終わり)を超過している児童が退学する場合は、校長が退学を認めた年月日及びその事由等を記入する。

なお、就学義務が猶予・免除される場合又は児童の居所が1年以上不明である場合は、在学しない者として取り扱い、在学しない者と認めた年月日及びその事由等を記入する。

各年度に、校長の氏名、学級担任者の氏名を記入し、それぞれ押印する。(同一年度内に校長又は学級担任者が代わった場合には、その都度後任者の氏名を併記する。)

## 様式2 (指導に関する記録)

小学校児童指導要録 (参考様式) (イメージ) 別紙3

様式2 (指導に関する記録)

児童氏名		学 校 名		区 分		学 年		1		2		3		4		5		6	
各 科 目 の 学 習 の 記 録																			
I 観 点 別 学 習 状 況																			
教科	観 点	学 年	1	2	3	4	5	6											
国	国語への関心・意欲・態度																		
国	話す・聞く能力																		
国	書く能力																		
国	読む能力																		
国	言語についての知識・理解・技能																		
社	社会的事象への関心・意欲・態度																		
社	社会的な思考・判断・表現																		
社	観察・資料活用																		
社	社会的事象についての知識・理解																		
算	算数への関心・意欲・態度																		
算	数学的思考																		
算	数量や図形についての技能																		
算	数量や図形についての知識・理解																		
理	自然事象への関心・意欲・態度																		
理	科学的な思考・表現																		
理	観察・実験の技能																		
理	自然事象についての知識・理解																		
生	生活への関心・意欲・態度																		
生	活動や体験についての思考・表現																		
生	身近な環境や自分についての気づき																		
音	音楽への関心・意欲・態度																		
音	音楽表現の創意工夫																		
音	音楽表現の技能																		
音	鑑賞の能力																		
図	造形への関心・意欲・態度																		
図	発想や表現の能力																		
図	創造的な技能																		
図	鑑賞の能力																		
家	家庭生活への関心・意欲・態度																		
家	生活を創意工夫する能力																		
家	生活の技能																		
家	家庭生活についての知識・理解																		
体	運動や健康・安全への関心・意欲・態度																		
体	運動や健康・安全についての思考・判断																		
体	運動の技能																		
体	健康・安全についての知識・理解																		
特別活動の記録																			
内 容		観 点		学 年		1		2		3		4		5		6			
学級活動																			
児童会活動																			
クラブ活動																			
学校行事																			
総合的な学習の時間の記録																			
学 年		区 分		学 年		1		2		3		4		5		6			
3		国語																	
4		社会																	
5		算数																	
6		理科																	
		音楽																	
		図工																	
		家庭																	
		体育																	

### A 各教科の学習の記録 (P.8 参照)

### B 特別の教科 道徳 (P.9 参照)

### C 外国語活動の記録

評価の観点を記入した上で、それらの観点到照らして、児童の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で記述する。

評価の観点について、設置者は、小学校学習指導要領等に示す外国語活動の目標を踏まえ、評価の観点及びその趣旨を参考に設定する(P41 参照)。また、各学校において、観点を追加して記入できるようにする。

### D 総合的な学習の時間の記録 (P.10 参照)

### E 特別活動の記録

各学校が自ら定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入した上で、各活動・学校行事ごとに、評価の観点到照らして十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に、○印を記入する。

評価の観点については、小学校学習指導要領等に示す特別活動の目標を踏まえ、各学校において評価の観点及びその趣旨を参考に定める。その際、例えば、「集団の一員としての思考・判断・実践」に関わる観点について、学校として重点化した内容を踏まえ、育てようとする資質や能力などに即し、より具体的に定めることも考えられる。

### F 行動の記録

各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動やその他学校生活全体にわたって認められる児童の行動について、設置者は評価の観点及びその趣旨を参考に定める。

また、各学校において、自らの教育目標に沿って項目を追加できるようにする。評価に当たっては、各項目の趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合に、○印を記入する。

### G 総合所見及び指導上参考となる諸事項 (P.11 参照)

### H 出欠の記録 (P.12 参照)

児童氏名

行 動 の 記 録	
項 目	学 年
基本的な生活習慣	1 2 3 4 5 6
健康・体力の向上	1 2 3 4 5 6
自主・自律	1 2 3 4 5 6
責任感	1 2 3 4 5 6
創意工夫	1 2 3 4 5 6
思いやり・協力	1 2 3 4 5 6
生命尊重・自然愛護	1 2 3 4 5 6
勤労・奉仕	1 2 3 4 5 6
公正・公平	1 2 3 4 5 6
公共心・公徳心	1 2 3 4 5 6

総合所見及び指導上参考となる諸事項

第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年

出 欠 の 記 録

区 分	授業日数	出席日数	出席率	欠席日数	欠席率	出欠日数	出欠率
学年							
1							
2							
3							
4							
5							
6							



**A** 各教科の学習の記録

各教科の学習の記録										
Ⅰ 観点別学習状況										
教科	観 点	学 年	1	2	3	4	5	6		
国語	国語への関心・意欲・態度									
	話す・聞く能力									
	書く能力									
	読む能力									
	言語についての知識・理解・技能									
社会	社会的事象への関心・意欲・態度									
	社会的な思考・判断・表現									
	観察・資料活用									
	社会的事象についての知識・理解									
算数	算数への関心・意欲・態度									
	数学的な考え方									
	数量や図形についての技能									
	数量や図形についての知識・理解									
理科	自然事象への関心・意欲・態度									
	科学的な思考・表現									
	観察・実験の技能									
	自然事象についての知識・理解									
生活	生活への関心・意欲・態度									
	活動や体験についての思考・表現									
	身近な環境や自分についての気付き									
音楽	音楽への関心・意欲・態度									
	音楽表現の創意工夫									
	音楽表現の技能									
	鑑賞の能力									
図画工作	造形への関心・意欲・態度									
	発想や構想の能力									
	創造的な技能									
	鑑賞の能力									
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度									
	生活を創意工夫する能力									
	生活の技能									
	家庭生活についての知識・理解									
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度									
	運動や健康・安全についての思考・判断									
	運動の技能									
	健康・安全についての知識・理解									
Ⅱ 評 定										
学年	教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	
3										
4										
5										
6										

**Ⅰ 観点別学習状況**

小学校学習指導要領（平成 20 年又は平成 29 年文部科学省告示）に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し記入する。その際、「十分満足できる」状況と判断されるものを A,「おおむね満足できる」状況と判断されるものを B,「努力を要する」状況と判断されるものを C のように区別して評価を記入する。

小学校における各教科の評価の観点については、小学校学習指導要領等を踏まえ、現行の評価の観点及びその趣旨を参考に設定する。また、各学校において、観点を追加して記入できるようにする。

**Ⅱ 評 定**

第 3 学年以上の各教科の学習の状況について、小学校学習指導要領等に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を総括的に評価し記入する。

各教科の設定は、小学校学習指導要領等に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を「十分満足できる」状況と判断されるものを 3,「おおむね満足できる」状況と判断されるものを 2,「努力を要する」状況と判断されるものを 1 のように区別して評価を記入する。

設定に当たっては、設定は各教科の学習の状況を総括的に評価するものであり、「(1) 観点別学習状況」において掲げられた観点は、分析的な評価を行うものとして、各教科の評定を行う場合において基本的な要素となるものであることに十分留意する。その際、設定の適切な決定方法等については、各学校において定める。

## B 特別の教科 道徳

特 別 の 教 科 道 徳	
学年	学習状況及び道徳性に係る成長の様子
1	
2	
3	
4	
5	
6	

### 特別の教科 道徳

評価（の観点）については、小学校学習指導要領等に出す特別の教科道徳の目標を踏まえ、各学校において具体的に定めた目標、内容に基づいて定める。

その際、例えば、「道徳的諸価値を理解する」、「物事を広い視野から多面的・多角的に考える」、「自己（人間として）の生き方についての考えを深める」及び「自分を見つめる」等と学習指導要領に出す特別の教科 道徳の目標を踏まえて定めたり、「何を理解しているか、何ができるか」、「理解していること・できることをどう使うか」、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」などの視点に沿って各学校において育てようとする資質や能力等を踏まえて定めたりすることが考えられる。

また、各教科との関連を明確にし、特別の教科 道徳の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」等と定めることも考えられる。

この時間に行った学習活動及び各学校が自ら定めた内容項目の指導の観点のうち、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子に個人内成長の過程が顕著にある場合などに、個々の内容項目ごとではなく大きくくりなまとまりを踏まえて記入する等、児童が成長を実感でき、道徳性の向上につなげていけるかを文章で記述する。

(P.16～19 参照)

## D 総合的な学習の時間の記録

総合的な学習の時間の記録			
学年	学 習 活 動	観 点	評 価
3			
4			
5			
6			

### 評価

この時間に行った学習活動及び各学校が自ら定めた評価の観点を記入した上で、それらの観点のうち、児童の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で記述する。

### 観点

評価の観点について、小学校学習指導要領等にする総合的な学習の時間の目標を踏まえ、各学校において具体的に定めた目標、内容に基づいて定める。その際、例えば、「よりよく問題を解決する資質や能力」、「学び方やものの考え方」、「主体的、創造的、協同的に取り組む態度」及び「自己の生き方」等と学習指導要領に示す総合的な学習の時間の目標を踏まえて定めたり、「学習方法に関すること」、「自分自身に関すること」及び「他者と社会とのかかわりに関すること」等の視点に沿って各学校において育てようとする資質や能力等を踏まえて定めたりすることが考えられる。

また、教科との関連を明確にし、総合的な学習の時間の学習活動にかかわる「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」等と定めることも考えられる。



## 総合所見及び指導上参考となる諸事項

総合所見及び指導上参考となる諸事項			
第1学年		第4学年	
第2学年		第5学年	
第3学年		第6学年	

### 総合所見及び指導上参考となる諸事項

児童の成長の状況を総合的にとらえるため、以下の事項等を文章で記述する。

- 【1】各教科や外国語活動、総合的な学習の時間の学習に関する所見
- 【2】特別活動に関する事実及び所見
- 【3】行動に関する事実及び所見
- 【4】児童の特徴・特技，学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動，表彰を受けた行為や活動，学力について標準化された検査の結果等指導上参考となる諸事項
- 【5】児童の成長の状況にかかわる総合的な所見

記入に際しては，児童の優れている点や長所，進歩の状況などを取り上げることに留意する。ただし，児童の努力を要する点などについても，その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記入する。

また，学級・学年など集団の中での相対的な位置付けに関する情報も，必要に応じ，記入する。

さらに，通級による指導を受けている児童については，通級による指導を受けた学校名，通級による指導の授業時数，指導期間，指導の内容や結果等を記入する。通級による指導の対象となっていない児童生徒で，教育上特別な支援を必要とする場合については，必要に応じ，効果があったと考えられる指導方法や配慮事項を記入する。

(P20 ～ 38 参照)



## 出欠の記録

区分 学年	出 欠 の 記 録					備 考
	授業日数 ①	出席停止・ 忌引等の日数 ②	出席しなければ ならない日数 ③	欠席日数 ④	出席日数 ⑤	
1						⑥
2						
3						
4						
5						
6						

### ①授業日数

児童の属する学年について授業を実施した年間の総日数を記入する。この授業日数は、原則として、同一学年のすべての児童につき同日数とすることが適当である。

ただし、転学又は退学等をした児童については、転学のため学校を去った日又は退学等をした日までの授業日数を記入し、転入学又は編入学をした児童については、転入学又は編入学等をした日以降の授業日数を記入する。

### ②出席停止・忌引等の日数 以下の日数を合算して記入する。

- 【1】学校教育法第 35 条による出席停止日数，学校保健安全法第 19 条による出席停止日数及び感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 19 条，第 20 条，第 26 条及び第 46 条による入院の場合の日数
- 【2】学校保健安全法第 20 条により，臨時に学年の中の一部の休業を行った場合の日数
- 【3】忌引日数
- 【4】非常変災等児童又は保護者の責任に帰することができない事由で欠席した場合などで，校長が出席しなくてもよいと認めた日数
- 【5】その他教育上特に必要な場合で，校長が出席しなくてもよいと認めた日数

### ③出席しなければならぬ日数

授業日数から出席停止・忌引等の日数を差し引いた日数を記入する。

### ④欠席日数

出席しなければならぬ日数のうち，病気又はその他の事故で児童が欠席した日数を記入する。

### ⑤出席日数

出席しなければならぬ日数から欠席日数を差し引いた日数を記入する。なお，学校の教育活動の一環として児童が運動や文化などにかかわる行事等に参加したものと校長が認める場合には，指導要録の出欠の記録において出席扱いとすることができる。

また，平成 15 年 5 月 16 日付け 15 文科初第 255 号「不登校への対応の在り方について」や平成 17 年 7 月 6 日付け 17 文科初第 437 号「不登校児童生徒が自宅において IT 等を活用した学習活動を行った場合の指導要録上の出欠の取扱い等について」に沿って，不登校の児童が適応指導教室等学校外の施設において相談・指導を受け，又は自宅において IT 等を活用した学習活動を行ったとき，そのことが当該児童の学校復帰のために適切であると校長が認める場合には，指導要録の出欠の記録においては出席扱いとすることができる。この場合には，出席日数の内数として出席扱いとした日数並びに児童が通所若しくは入所した学校外の施設名又は自宅において IT 等を活用した学習活動によることを記入する。

### ⑥備考

出席停止・忌引等の日数に関する特記事項，欠席理由の主なもの，遅刻，早退等の状況その他の出欠に関する特記事項等を記入する。

# 小 学 校 児 童 指 導 要 録 (参考様式)

様式 1 (学籍に関する記録)

区分 \ 学年	1	2	3	4	5	6
学 級	2	2	3			
整理番号	17	17	20			

学 籍 の 記 録						
児 童	ふりがな	た な か のぞ み	性別	女	入学・編入学等	平成30年 4 月 1 日 第 1 学年 入 学 第 学年編入学
	氏 名	田中 希美				
	生年月日	平成 23 年 8 月 4 日生			転 入 学	平成31年 9 月 1 日 第 2 学年転入学 △△県〇〇市立夢野町小学校 △△県〇〇市夢野町 5 丁目 233
	現住所	〇〇県〇〇市東町 5 丁目 22 番地				
保 護 者	ふりがな	た な か ひろし	転学・退学等		(平成 32 年 5 月 8 日) 平成 32 年 5 月 11 日 ▽▽県〇〇市立山小学校第 3 学年 ▽▽県〇〇市立山 2 丁目 14-2	
	氏 名	田中 宏				
	現住所	児童の欄に同じ			卒 業	平成 年 月 日
入学前の経歴		平成 28 年 4 月から平成 30 年 3 月まで つばめ幼稚園在園			進 学 先	
学 校 名 及 び 所 在 地 (分校名・所在地等)						
年 度		平成30年度		平成31年度		平成32年度
区分 \ 学年	1		2		3	
校 長 氏 名 印	石田光一(印)		石田光一(4月～8月)(印) 山崎俊子(9月～3月)(印)		山崎俊子(4月～5月)(印) 市村伸二(5月～3月)(印)	
学 級 担 任 者 氏 名 印	荒井雅子(印)		荒井雅子(4月～8月)(印) 高木由貴(9月～3月)(印)		青木 隆(4月～5月)(印) 田島 茜(5月～3月)(印)	
年 度		平成 年度		平成 年度		平成 年度
区分 \ 学年	4		5		6	
校 長 氏 名 印						
学 級 担 任 者 氏 名 印						



(様式2はイメージ)

様式2 (指導に関する記録)

児 童 氏 名		学 校 名		区分 \ 学年	1	2	3	4	5	6
田中 希美		〇〇県〇〇市立東町小学校		学 級	2	2	3			
				整理番号	17	17	20			

各 教 科 の 学 習 の 記 録										特 別 の 教 科 道 徳							
Ⅰ 観 点 別 学 習 状 況										学年	学習状況及び道徳性に係る成長の様子						
教科	観 点	学 年	1	2	3	4	5	6									
国語	国語への関心・意欲・態度		B	B	A				1	正直について考え、うそやごまかしをしないで明るい心で楽しく生活することの大切さが分かった。							
	話す・聞く能力		B	B	A				2	友達の気持ちを考え、友達と仲よくすることのよさや楽しさ、助け合うことの大切さが分かった。							
	書く能力		B	B	B				3	不公平な態度が周囲に与える影響を考え、誰に対しても分け隔てをしないで接することの大切さを理解できた。							
	読む能力		B	B	B				4	道徳科における学習状況や道徳性に係る成長の様子を、大きくりなまとまりをふまえて、個々の内容項目ごとではなく、児童自らが成長を実感し、学習意欲を高め、道徳性の向上につなげていくよう個人内成長の過程を重視し、文章で記入する。							
	言語についての知識・理解・技能		B	B	B				5								
社会	社会的事象への関心・意欲・態度				A				6								
	社会的な思考・判断・表現				B												
	観察・資料活用				A												
	社会的事象についての知識・理解				B												
算数	算数への関心・意欲・態度		A	A	B				外国語活動の記録								
	数学的な考え方		A	A	A				観 点 \ 学 年	5	6						
	数量や図形についての技能		B	B	A				コミュニケーションへの関心・意欲・態度								
	数量や図形についての知識・理解		B	A	B				外国語への慣れ親しみ								
理科	自然事象への関心・意欲・態度				B				言語や文化に関する気付き								
	科学的な思考・表現				B												
	観察・実験の技能				A												
	自然事象についての知識・理解				B												
生活	生活への関心・意欲・態度		A	A					総合的な学習の時間の記録								
	活動や体験についての思考・表現		A	B					学年	学 習 活 動	観 点	評 価					
	身近な環境や自分についての気付き		B	A					3	・豆はかせになろう ・ブリティッシュス クールと交流しよう。	・問題解決の能力 ・表現力 ・自己の生き方	・大豆について調べたことや豆腐づくりの様子をわかりやすくまとめ、発表した。 ・調べたことをまとめる力が伸びた。					
音楽	音楽への関心・意欲・態度		A	A	A				4								
	音楽表現の創意工夫		A	A	A				5								
	音楽表現の技能		A	A	A				6								
	鑑賞の能力		A	A	A												
図画工作	造形への関心・意欲・態度		B	B	B												
	発想や構想の能力		B	B	B												
	創造的な技能		B	B	A												
	鑑賞の能力		A	A	B												
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度																
	生活を創意工夫する能力																
	生活の技能																
	家庭生活についての知識・理解																
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度		B	B	B				特 別 活 動 の 記 録								
	運動や健康・安全についての思考・判断		B	B	B				内 容	観 点 \ 学 年	1	2	3	4	5	6	
	運動の技能		B	B	B				学級活動			○					
	健康・安全についての知識・理解				A				児童会活動				○				
Ⅱ 評 定										クラブ活動							
学年 \ 教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	学校行事				○				
3	2	2	2	2	3	2											
4																	
5																	
6																	

児 童 氏 名
田中 希美

行 動 の 記 録															
項 目	学 年	1	2	3	4	5	6	項 目	学 年	1	2	3	4	5	6
基本的な生活習慣		○	○					思いやり・協力		○	○	○			
健康・体力の向上								生命尊重・自然愛護				○			
自主・自律				○				勤労・奉仕							
責任感								公正・公平							
創意工夫								公共心・公德心							

総 合 所 見 及 び 指 導 上 参 考 と な る 諸 事 項			
第 1 学 年	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 何ごとにも意欲的に取り組み、たくさんの友達と楽しく学校生活を送ることができた。</li><li>・ 生活科では、自己の成長の様子を家族から聞き取り、それを絵本に上手にまとめるとともに、家族や周囲の人への感謝の気持ちをもつことができた。</li><li>・ 5月の「はたらく消防写生大会」では優秀賞を受賞した。</li></ul>	第 4 学 年	
第 2 学 年	<ul style="list-style-type: none"><li>・ いつも笑顔を絶やさず、一人でいる友達にも声をかける優しさがあり、誰とでも仲よく過ごすことができる。</li><li>・ 音楽の時間では、明るく伸びやかに歌ったり、身体表現を交えるなど、音楽表現の楽しさを感じながら取り組むことができた。</li><li>・ 校外学習で電車に乗った時には、マナーを守り周りの迷惑にならないように気を付けることができた。</li></ul>	第 5 学 年	
第 3 学 年	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 隣の学校との交流会では、担当になった役割を最後まで責任をもって果たした。</li><li>・ 音楽の学習がとても好きで、特に、呼吸やリズムに気を付けながらきれいな声で歌うことができる。</li><li>・ 友達に英語で自分の好きな食べ物や持ち物などについて伝え合う活動を通して、英語でのコミュニケーションを楽しむことができた。</li></ul>	第 6 学 年	

出 欠 の 記 録											
区分	授業日数	出席停止・ 忌引等の日数	出席しなければ ならない日数	欠席日数	出席日数	備 考					
学年											
1	203	2	201	4	197	インフルエンザによる学級閉鎖、2日 かぜによる欠席4日					
2	203	0	203	0	203						
3	203	0	203	1	202	腹痛による欠席1日					
4											
5											
6											

## 第3章

# 特別の教科 道徳 の記入文例

### (1)低学年

※各内容項目から見た記入例を掲載していますが、実際の評価にあたっては、  
大きくくりなまとまりを踏まえて行うことが求められています。

内容項目	記入例
<b>A 主として自分自身に関すること</b>	
善悪の判断 自律、自由と責任	・積極的に行うべきよいことと人としてしてはならないことについて考え、よいことを行う喜びに気付くことができた。
正直、誠実	・正直について考え、うそやごまかしをしないで明るい心で楽しく生活することの大切さが分かった。
節度、節制	・規則正しい生活の大切さを考え、身の回りを整えて気持ちのよい生活ができることを理解できた。
個性の伸長	・自分のよさについて考え、自分の長所にできるだけ多く気付き、自分の特徴が分かった。
希望と勇氣、 努力と強い意志	・自分がやるべき勉強や仕事を考え、やり遂げたときの喜びや充実感を味わい、努力した自分に気付くことができた。
<b>B 主として人との関わりに関すること</b>	
親切、思いやり	・親切にすることの大切さについて考え、相手の喜びを自分の喜びとして、親切にするよさが分かった。
感謝	・自分が感じた感謝の念について考え、世話をしてくれる人々の善意に気付くことができた。
礼儀	・社会との関わりの中での礼儀について考え、時と場に応じた挨拶や言葉遣い、作法などがあることに気付くことができた。
友情、信頼	・友達の気持ちを考え、友達と仲よくすることのよさや楽しさ、助け合うことの大切さが分かった。
<b>C 主として集団や社会との関わりに関すること</b>	
規則の尊重	・身近な約束やきまりについて考え、それらはみんなが気持ちよく安心して過ごすためにあることを理解することができた。
公正、公平、社会正義	・公正、公平な態度に根差した言動について考え、誰に対しても公正、公平に接することのよさを実感することができた。
勤労、公共の精神	・当番活動、係活動などの仕事について考え、みんなのために役立とうとする意欲に結び付けることができた。
家族愛、 家庭生活の充実	・家庭生活において自分にできることを考え、家族の一員として役に立つ喜びが分かった。
よりよい学校生活、 集団生活の充実	・学級や学校のことを考え、集団の中での行動の仕方を学び、自分の居場所をつくる喜びが分かった。
伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	・家庭や学校を取り巻く郷土を考え、昔の遊びや季節の行事などを通して我が国の伝統や文化にも触れ、親しみをもつことができた。
国際理解、国際親善	・他国の文化に気付いたり、他国との交流に触れたりして、自分たちと異なる文化のよさに気付くことができた。
<b>D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</b>	
生命の尊さ	・生きている証について考え、日々の生活経験の中で生きていることのすばらしさを感じ取ることができた。
自然愛護	・自然に親しみ動植物に優しく接しようとする心情を考え、自然や動植物を大事に守り育てようとする大切さに気付くことができた。
感動、畏敬の念	・身近な自然の美しさや心地よい音楽、芸術作品などに触れた気持ちよさについて考え、美しいものや清らかなものに感動し、すがすがしい心をもつことができた。

## (2) 中学年

※各内容項目から見た記入例を掲載していますが、実際の評価にあたっては、大きくくりなまとまりを踏まえて行うことが求められています。

内容項目	記入例
<b>A 主として自分自身に関すること</b>	
善悪の判断 自律, 自由と責任	・自ら信じることに従って正しいことを行なったときの充実した気持ちを考え, 正しいことや正しくないことについて判断することができた。
正直, 誠実	・正直であることの快適さを考え, 正直であるからこそ, 明るい心で伸び伸びとした生活が実現できることを理解できた。
節度, 節制	・自分でできることは自分で行うことなどを考え, 節度ある生活のよさを考えることができた。
個性の伸長	・友達など他者との交流の中で互いを認め合い, 自分の特徴である長所の部分を更に伸ばしていきながら, 自分の個性に気付くことができた。
希望と勇気, 努力と強い意志	・目標を実現するための強い意志について考え, 今よりよくなりたいという願い, 努力しようとする姿について考えを深めることができた。
<b>B 主として人との関わりに関すること</b>	
親切, 思いやり	・相手のことを自分のこととして想像することの大切さを考え, 相手の気持ちを察したり, 相手の気持ちをより深く理解したりすることができた。
感謝	・自分の生活を支えてくれる人の思いを考え, その人たちの存在意義に対する理解を深め, 尊敬と感謝の念をもつことに気付いた。
礼儀	・誰に対しても真心をもって接する態度について考え, 毎日の生活の中での挨拶や言葉遣いなど, 礼儀の大切さを考えることができた。
友情, 信頼	・友達とのよりよい関係の在り方を考え, 互いに理解し, 信頼し, 助け合うことで, 健全な仲間集団を育成する友達の大切さが分かった。
相互理解, 寛容	・相手の言動にある思いを知り, 相手の理解を深め, 自分も更に相手からの理解が得られるように思いを伝える相互理解の大切さに気付くことができた。
<b>C 主として集団や社会との関わりに関すること</b>	
規則の尊重	・約束や社会のきまりと公共物や公共の場所との関わりについて考え, 一般的な約束や社会のきまりの意義やよさについて理解することができた。
公正, 公平, 社会正義	・不公平な態度が周囲に与える影響を考え, 誰に対しても分け隔てをしないで接することの大切さを理解することができた。
勤労, 公共の精神	・身の回りの生活の中で, 集団の一員としてできることについて考え, みんなのために働くことで楽しさや喜びを味わえることが理解できた。
家族愛, 家庭生活の充実	・協力し合って楽しい家庭をつくる意義を考え, 自分に対して愛情をもって育てていることなど敬愛の念を深めていくことの大切さに気付くことができた。
よりよい学校生活, 集団生活の充実	・学級や学校で自分を支え励ましてくれる様々な人々との関わりを考え, 感謝と敬愛の念を深め, 楽しく充実した学校生活をつくり出す大切さに気付くことができた。
伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	・地域の人々や生活, 伝統, 文化に親しみ, 大切にすることを考え, 地域の生活や環境などの特色に気が付き, 郷土のすばらしさに気付くことができた。
国際理解, 国際親善	・郷土や自国の文化と他国の文化との共通点や相違点を考え, 様々な生活や学習において, 更に関心をもって他国の人々や他国の文化に気付くことができた。
<b>D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること</b>	
生命の尊さ	・与えられた生命を一生懸命に生きることのすばらしさについて考え, 今ある自分の生命は, 遠い先代から受け継がれてきたものであるという不思議さや雄大さに気付くことができた。
自然愛護	・環境保全についても関心をもち, その必要性について考え, 自然やその中に生きる動植物を大切にすることを深め, 自然を大切にすることで, 自分たちの命も守られていることに気付くことができた。
感動, 畏敬の念	・美しいものや気高いものに意識的に触れ, 素直に感動する心について考え, 自然の美しさや人の心の気高さなどを感じ取る心をもっている自分に気付くことができた。

### (3)高学年

※各内容項目から見た記入例を掲載していますが、実際の評価にあたっては、大きくくりなまとまりを踏まえて行うことが求められています。

内容項目	記入例
<b>A 主として自分自身に関すること</b>	
善悪の判断 自律、自由と責任	・自由と自分勝手との違いや、自由だからこそできることやそのよさを考え、自らの自律的で責任のある行動についてのよさを理解することができた。
正直、誠実	・誠実な生き方を考え、その生き方が、より明るい心となって行動に表れ、自己を向上させることや自信にもつながることに気付くことができた。
節度、節制	・自分の生活を振り返り、改善すべき点などについて考え、基本的な生活習慣は心身の健康を維持増進し、活力のある生活を支えるものであることを理解することができた。
個性の伸長	・自己の生き方を見つめ、自分の特徴を多面的・多角的に考え、自分自身の長所と短所の両面があり、長所は伸ばそうとする態度、短所は課題として改善していく努力が大切であることに気付くことができた。
希望と勇気、 努力と強い意志	・自己の向上のためにより高い目標を考え、その達成を目指して希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力しようとする強い意志と実行力が大切であることが理解できた。
真理の探究、創造	・真理を求める態度を大切に、物事の本質を見極めようとする知的な活動について考え、疑問を探究し続けることの大切さに気付くことができた。
<b>B 主として人との関わりに関すること</b>	
親切、思いやり	・相手の立場に立つことを強調し、自分自身が相手に対してどのように接し、対処すればよいのか考え、思いやりの心が伴った親切な行為を広げていく大切さに気付くことができた。
感謝	・支え合い助け合おうとする人々の善意に気付き感謝する心情や態度を考え、自他を尊重する温かな人間関係を築くことができるすばらしさが分かった。
礼儀	・礼儀作法の形にこめられた相手を尊重する気持ちを考え、礼儀のよさや意義について理解することができた。
友情、信頼	・健全な友達関係について考え、異性に対しても、信頼を基にして、正しい理解と友情を育て、互いによさを認め、学び合い、支え合いながらよい関係を築くことの大切さに気付くことができた。
相互理解、寛容	・相手の立場に立って考え、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することで、違いを生かしたよりよいものが生まれるといったよさに気付くことができた。
<b>C 主として集団や社会との関わりに関すること</b>	
規則の尊重	・自分に課せられた義務を果たす意味を考え、身近な集団生活を送る上においても、みんなで互いの権利を尊重し合い、自らの義務を進んで果たすことの大切さに気付くことができた。
公正、公平、社会正義	・社会的な差別や不公正さなどの問題について考え、差別や偏見がいじめなどの問題につながることを理解することができた。
勤労、公共の精神	・勤労が自分のためだけではなく社会生活を支えるものであることを考え、勤労を尊ぶ心を感じ取りながら、働くことの意義を理解することができた。
家族愛、 家庭生活の充実	・家族の一員としての自覚をもって家庭生活に貢献できることを考え、父母、祖父母に対する家族への敬愛を深め、家族の幸せのために貢献する大切さに気付くことができた。
よりよい学校生活、 集団生活の充実	・集団における自分の役割を考え、学級や学校、身近な集団を支えているのは自分たち自身であるということに気付くことができた。
伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	・伝統や文化を育んできた我が国の郷土を受け継ぎ発展させることを考え、我が国の伝統や文化のよさについて理解を深めることができた。
国際理解、国際親善	・進んで他国の人々とつながろうとする国際親善について考え、他国の人々が我が国と同じようにそれぞれの国の伝統や文化に愛着や誇りをもって生きていることについて理解することができた。
<b>D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</b>	
生命の尊さ	・個々の生命が互いを尊重し、つながりの中にあるすばらしさを考え、様々な側面から生命のかけがえのなさについて理解することができた。
自然愛護	・人間も自然の中で生かされていることを考え、人間の力が及ばない自然の偉大さと驚異についてもしっかりと感じ取り、謙虚に自然に学ぶことの大切さに気付くことができた。

感動, 畏敬の念	・ 美しいものとの関わりを通して, 感動したり尊敬や畏敬の念を深めたりして, 人間としての在り方を見つめ直すことの大切さに気付くことができた。
よりよく生きる喜び	・ 人間がもつ強さ, 気高さについて自分自身を振り返り, 人間の強さや気高さを理解させ, 誇りある生き方や夢や希望などの喜びのある生き方につなげることの大切さに気付くことができた。



### ■学習指導要領改訂の趣旨と指導要録総合所見との関連

新しい学習指導要領では、教育活動の目標として、「児童に生きる力を育むことを目指す」ことはこれまでとは変わらないが、各教科・領域の全てにおいて、それぞれで育成すべき資質・能力として3つの視点が示されている。

- (1) 知識及び技能が習得されるようにすること。
- (2) 思考力、判断力、表現力を育成すること。
- (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養すること。

これを受けて、各教科・領域の目標も3つの観点から設定されている。これまでは、各教科・領域ごとに目標の観点の数や項目の文言も異なっていたが、今回の学習指導要領の改訂によって全て統一されたことになる。「指導と評価は一体である」ということから、その評価もこの3つの観点から行い、児童のよさや可能性を見だし、それを伸ばすための事実を「総合所見及び指導上参考となる諸事項」欄には文章記述していくことになる。

## 第1学年

### ■各教科に関する所見

教科等	文 例
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読むことや書くことにめあてをもって取り組み、言葉には内容を表したり、思いや考えを伝えたりする働きがあることを意識して文章を書くことができるようになった。</li> <li>・特に、漢字を書くことに主体的に組み、その練習に一字一字丁寧に組み、習った漢字を使って日記を書いたりして、第1学年で習得すべきものを身に付けた。</li> <li>・読み取ったことや思ったことなどを、相手に伝わるように言葉を選んだり、話す内容の順序を考えたりして話すことができていた。</li> <li>・友達の話を聞き漏らさずに聞き取ろうと努力している姿が見られ、また、友達の意見に対する自分の感想も伝えることができていた。</li> <li>・「せんせいあのね」ノートを1年間書き続けることを通して、経験したことや想像したことなど、自分が伝えたいことを生き生きと表現する力が付いてきた。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物と数詞を1対1対応させたり、数をまとめて数えたりするなどの活動には意欲的に取り組み、ドッチボールの勝ち負けをはっきりさせる場面で、学習したことを活用する姿が見られた。</li> <li>・「かたちあそび」の学習では集めた箱を使い、仲間分けや形作りなどの活動を通して、図形の特徴を自分の言葉で表現し、図形についての感覚を豊かにした。</li> <li>・数のきまりを発見したときに「あ、分かった」と生き生きと表現しながら理解を深めていた。時間がかかっても、できるようになりたいという思いをもち、一つ一つの課題にまじめに取り組んでいた。</li> <li>・学習したことを活用した、たし算やひき算の問題作りでは、進んで何問も問題を考えたり、自分の問題の解き方をブロックを用いて友達に積極的に説明したりしていた。</li> <li>・繰り下がりのある計算の仕方を理解するまで時間がかかったが、計算ブロックを操作したり、何度も計算の仕方を唱えたりすることで、できるようになってきた。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「春の虫となかよし」の学習では、校庭の植え込みや公園などで進んで虫を見つけ、名前を調べたり、虫の目線に合わせて観察をしたりするなど、小さな生き物への関心を高めた。</li> <li>・あさがおの観察では、つるの伸び方に着目し、気付いたことを話したり、絵カードにかいたりしていた。日に日に成長していくあさがおの様子への喜びについて学習したばかりの漢字も使って書いていた。</li> <li>・学校探検では、調べたいことを書き出し、友達と協力しながら探検場所を回り、見たことや聞いたことをカードにメモをして、学校の各施設の大体を理解していた。</li> <li>・自分の成長の様子を家族から聞き取り、絵や写真を使ってまとめ、感謝の気持ちをもつことができた。</li> </ul>

生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく入学してくる1年生のために何ができるかを考え、学校行事を紹介する絵をかいた。幼稚園生を迎えた本番では、学年代表として、4月に入学してくることを心から楽しみにしていることを伝えた。</li> <li>・教室で飼っているザリガニの水槽の水をかえたり、えさを用意したりと生き物を大切にしていた。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤ハーモニカの学習では、初めのころは音がうまく出せなかったが、練習しているうちに演奏の楽しさに気づき、3学期には、友達と音を合わせながら上手に演奏することができるようになった。</li> <li>・歌うことに意欲的で、音楽に合わせて自然に体を動かし、1年生らしい音楽表現ができていた。</li> <li>・友達とリズムを合わせながら合奏する楽しさとともに、他のグループの演奏を聴く楽しさを味わっていた。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳パックや毛糸などを使った工作では、それぞれの材料の形や質感などを生かしながら、感覚や気持ちを働かせながら楽しく造形活動に取り組むことができた。</li> <li>・身の回りの作品や材料などを見たり触ったりして、感じたことや驚いたことを素直に表現して、友達にも伝えることができた。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・折り返しリレーやケンパー遊びなどでは、こうしたらみんなが楽しめると工夫したり、順番やきまりを守って運動したりするなど、楽しく、安全に気を付けながら取り組むことができた。</li> <li>・ジャングルジムや雲梯を使った遊びでは、友達と声を掛け合いながら体を揺らしたり、移動したりするなど懸垂姿勢と体の揺れを上手く使って運動していた。</li> <li>・はじめは水が顔にかかることを怖がっていた水泳だったが、宝探しゲームやじゃんけん列車などの遊びを通して、楽しんで水に入れるようになった。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「希望と勇気」、「努力と強い意志」の学習を通して、がんばることの意味を考え、普段の生活においても当番活動や宿題など自分のやるべきことを積極的に取り組むことができた。</li> <li>・「親切、思いやり」の学習では、親切にすることの大切さについて考え、普段の生活においても困っている友達に進んで声をかけることができた。</li> <li>・「規則の尊重」の学習では、みんなで使う場所や物についてどうするのがよいのか学び、学級で使うボールの片付けを必ず行い、気持ちよく生活することができた。</li> <li>・「自然愛護」の学習で学んだことを生かし、普段の生活では、学級で飼育しているザリガニのお世話を進んで行うことができた。</li> </ul>
総括的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活に慣れ、何事にも意欲的に取り組み、学習成果を十分にあげている。</li> <li>・よく話を聞き、よく発言し、集中力も育ってきているので大いに認め、自信を付けさせてきた。</li> <li>・意欲的に学習に取り組み、話をよく聞いて自分の考えを発表することができた。</li> <li>・話を聞く姿勢がよく、落ち着いて授業や作業に取り組む、友達と協力して活動する態度もよい。</li> <li>・漢字や計算などには興味をもって学習しているので、さらに丁寧さが加わるよう指導してきた。</li> </ul>

## ■特別活動に関する事実及び所見

項目	文 例
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生を送る会での学年呼びかけの代表に立候補し、堂々と大きな声で発表できた。</li> <li>・遠足や学校生活の約束などについてみんなが楽しく過ごすにはどうしたらよいかをよく考えて、進んで発表することができた。</li> <li>・学校行事や学年の集会などでは、他の学級の友達とも仲よく関わることができた。</li> <li>・運動会では、友達と一緒に練習を重ね、本番はリズムに乗って伸び伸びと踊ることができた。</li> <li>・音楽集会では、学年の代表になり、合唱曲の紹介を堂々と大きな声で話すことができた。</li> <li>・離任式では、感謝の作文を読む役に選ばれ、粘り強く練習して、自信をもって当日に臨むことができた。</li> </ul>
学級活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食当番として配膳台の上を丁寧に拭くなど、意欲的に準備を進め、責任を果たしていた。</li> <li>・生き物係として、水槽の掃除からえさやりまで忘れずにするなど金魚の世話をよくしていた。</li> <li>・日直になったときには、大きな声で堂々と朝の会や帰りの会の司会ができた。</li> </ul>

## ■行動に関する事実及び所見

項目	文 例
基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはようございます」「ありがとう」「ごめんなさい」などの基本的な挨拶が素直に自然にできるようになってきた。心の成長の証である。</li> <li>・相手意識をもったあいさつやはっきりした返事が身に付いている。友達への言葉遣いも決して荒れることなく、穏やかに接することができる節度ある生活振りである。</li> </ul>
健康・体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動が大好きで、休み時間には、外で元気にボール遊びやおにごっこなどで遊んでいた。</li> <li>・苦手な野菜も、一口は食べようと努力する姿が見られ、班の友達に頑張りを賞賛された時には本当に嬉しそうな笑顔を見せ、食べる量も少しずつ増えてきた。</li> </ul>
自主・自律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは苦手意識をもっていた漢字の練習で成果がでてきたことで、最後までやり遂げようとする意欲が見られてきた。学習での頑張りや、日常掃除での地道で粘り強い取り組みに結び付いている。</li> <li>・自分の責任を素早く果たし、学級全体の様子を見ながら、進んで手伝いをしようとする姿勢が身に付いている。</li> </ul>
責任感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何事にも一生懸命で、自分が納得するまで頑張る姿勢が見られた。</li> <li>・〇〇係りで自分がやるべきことを何度も確認し、はりきって友達と協力しながら仕事をしていた。</li> </ul>
創意・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなで仲良くなろう会」では、ゲーム担当になり、ルールの説明を考えたり、当日はみんなを盛り上げようと大きな声で演技したりと、活躍していた。</li> </ul>
思いやり・協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間のボール遊びでは、ボールを相手に譲ったり、一緒に使おうと声かけしたりと、友達と仲よく過ごしている。</li> <li>・教科書を忘れた友達に、さりげなく一緒に読もうと声をかけ、実践するなど優しい心の持ち主である。</li> </ul>
生命尊重 自然愛護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、教室のお花への水やりをかかさず行い、花が咲いたときには、とても喜んでいた。</li> <li>・休み時間には、学校で飼っているチャボやうさぎを何度も見に行き、優しく話しかけたり、えさをやったりしていた。</li> </ul>
勤労奉仕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食当番では、配膳が終わった後で自分の役割以外にも気を配っていた。</li> <li>・掃除では、自分の担当する場所だけではなく、自分で仕事を見つけて進んで取り組む姿は、みんなのお手本となっていた。</li> </ul>
公正・公平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく朗らかで、相手の気持ちを考えた優しい振る舞いができるので、みんなから好感をもたれている。</li> <li>・友達のよいところを見つけて褒めたり、してはいけない行動に対してきちんと注意をしたりできる。</li> </ul>
公共心・公德心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のきまりや学級の約束を守ろうとする気持ちをもって学校生活を送っている。誤った行動をする友達に対して、声をかける勇気も備わった。</li> <li>・何事にも意欲を示し、学級の仕事にも進んで取り組む姿が見られる。また、友達がしている仕事も自然な形で手伝うことができた。</li> </ul>

## ■児童の特徴・特技、学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動、表彰を受けた行為や活動

項目	文 例
特徴・特技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく伸び伸びと生活しており、面白いことを言って友達を笑わせるなど、ひょうきんな一面も見られた。</li> <li>・水泳を習い続けており、今では面かぶりクロールで 25 メートル以上も泳げるようになっている。</li> <li>・絵本が好きで、毎日のように図書室で本を借りて帰り、図書室にある絵本のほとんどを読んでしまうほどの読書量である。</li> </ul>
社会奉仕体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンデーのごみ拾い活動やもちつき大会など、地域の行事に積極的に参加していた。</li> <li>・地域のクラブ活動でサッカーに力を入れており、市民大会では市内準優勝という結果を残した。</li> </ul>
表 彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書感想文コンクール低学年の部で、優秀賞を受賞した。</li> <li>・書き初めに丁寧に取り組み、金賞を受賞した。</li> </ul>

## ■児童の成長の状況にかかわる総合的な所見

項目	文 例
児童の成長の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学当初は、なかなか友達と関われなかったが、学期が進むにつれ、友達との会話を楽しんだり、友達に自分の意志を伝えたりすることが増えてきた。</li> <li>・自分の思いや願いがうまく表現できないと、イライラが募り手や足が出てしまうことから友達とのトラブルが多いため、言動の背景を考えてその都度指導してきた。</li> </ul>

児童の成長の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の活動に夢中になってしまうことがあるので、具体的な場面をとらえて周りの様子を見て行動するよう声をかけてきた。</li> <li>・一人で過ごすことが少なくなり、自ら友達の輪の中に入っていけるようになってきた。明るさや活発さも増し、自信をもって学校生活を過ごすようになってきた。</li> </ul>
----------	---

## 第2学年

### ■各教科に関する所見

教科等	文 例
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書数は学級で一番多く、身近なことを表す語句の量も増やし、話や文章でも積極的に活用できている。</li> <li>・物事の内容や経験したことなどを伝えるという言葉の働きを理解し、物語文から読み取ったことや行事のあとの作文などでも自分が思ったことや考え方などを書き表す力が付いてきている。</li> <li>・隣の友達に考えを話したり、グループで話し合ったりする活動を通して、話の内容が相手に伝わるようにするにはどうしたらよいかを考え、話し方を工夫していた。</li> <li>・友達が伝えようとしていることを集中して聞き、話の内容をとらえて自分の考えをもち、それを書き表したり、話したりする力が付いてきた。</li> <li>・文字を整えて書くことを苦手としているので、姿勢を正し筆記具を正しく持つこと、一文字一文字丁寧に書くことを意識するよう支援してきた成果が徐々に現れ、自身もその成長ぶりを喜んでいる。</li> <li>・文中の大切な言葉に着目し、それを発言することで学級全体での話し合い活動の質を高めていた。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な場面から式を立て、未習の計算の仕方について、ブロックや図を使って考え、友達にも分かりやすく筋道立てて説明することができた。</li> <li>・かけ算九九では、一緒にめあてを立てて個別指導を重ね、できるようになったことをほめて自覚させ、定着を図った。繰り上がり・繰り下がりのある計算は、継続して個別指導が必要である。</li> <li>・三角形や四角形の学習では、図形を構成する要素に着目し、身の回りからも進んで同じ形を見つけたりするなど友達との対話を通して、楽しく学習を進め、学習内容を定着させていた。</li> <li>・水の量を測る活動では、測る前にどれだけの量が入りそうか自分なりの予想を立てて実際に測り、新しく覚えた単位を適切に用いて量を表現することができた。</li> <li>・クラスの子みんなの好きな果物調べの学習では、どんな観点で表に整理するとよいか、友達も感心するようなアイデアを出し、また、グラフから好きな果物の傾向を読み取ることもできた。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内では、1年間の経験を生かしてペアの1年生に合わせて歩いたり、優しく声をかけてあげたりと、細やかな気遣いをしながら、相手の気持ちを考えて案内することができた。</li> <li>・秋祭りでは、班の友達の「やってみたいこと」を聞いて、上手にまとめながら、どのようなゲームにしたらよいかを話し合うことができた。本番もペットボトルを使ったゲームで楽しんでた。</li> <li>・身の回りのものを活用したおもちゃ作りでは、多摩川で集めてきた枝や葉などを上手に組み合わせて、坂道を走る自動車を作り上げた。作り方のポイントを友達にも教えることで本人の自信になった。</li> <li>・春や秋のまち探検を通して、季節の変化への気付きを深めたり、地域の公園を清掃している人との関わりをもったりし、それを絵や文で「まちたんけんしょうかいカード」で表現することができた。</li> <li>・ミニトマト作りでは、植え方や育て方を図鑑で調べ、それをもとに育て、ミニトマトになったつもりでお話を作り、成長の様子を表現することができた。</li> <li>・生まれてから今までの自分の成長の様子を写真やイラストを入れてカードに記したり、家族への感謝の気持ちを丁寧に手紙に記したりすることができた。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手意識のあった鍵盤ハーモニカを友達と一緒に練習して、指の動きが滑らかになり、音を奏でることの楽しさを味わっていた。</li> <li>・明るく伸びやかに歌ったり、身体表現を交えてリズム遊びを工夫したりするなど、音楽表現の楽しさを感じながら取り組むことができた。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレヨンや絵の具を使って絵を描くことが大好きで、自分が感じたことや思ったことをよりよく表現できるように色や形を考え、工夫しながら取り組んだ。</li> </ul>



図工	・自分の作品の工夫点を言葉で紹介したり、友達の作品を見てすごいと思った点やこんなところがよいということ具体的に伝えたりすることができた。
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リレー遊びやゴム跳び遊びでは、高く跳ぶコツやジャンプのコツを友達にも教えながら、みんなが楽しめるように工夫して運動していた。</li> <li>・鬼遊びでは、基本のルールを工夫してもっと楽しく少し難しくするためにはどうしたらよいか考えて、逃げる区域を広げたり、陣地を取っていったりすることを提案して楽しんだ。</li> <li>・鉄棒や縄跳びでは、休み時間も熱心に練習を繰り返し、「チャレンジカード」に書かれている全ての技を合格することができた。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「正直、誠実」の学習では、正直に生きるよさについて学び、普段の生活でも、自分が悪いことをしたときに、「ごめんなさい。」と素直に謝って、明るく生活することができた。</li> <li>・「友情、信頼」の学習では、友だちのよさについて学び、普段の生活においても、友達とけんかをしても、すぐに仲直りをしてなかよく遊ぶことができた。</li> <li>・「勤労、公共の精神」の学習では、働くことの意味や意義について学び、係活動では、学級をよりよくしようと進んで働き、クイズ大会を企画・運営することができた。</li> <li>・「生命の尊さ」の学習では、自分の生命そのもののかけがえのなさを学び、日常生活の中でも生きている証をたくさん見つけることができた。</li> </ul>
総括的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的好奇心が高く、学習全般で自ら学び考え、多くの知識を身に付けようとよく努力していた。</li> <li>・特に、算数の学習でノートに自分や友達の考えを丁寧に書き、自分の思考を深めることができた。</li> <li>・友達と学ぶことの楽しさや喜びを味わいながら知識を広げ、理解を深めていた。</li> </ul>

## ■特別活動に関する事実及び所見

項目	文 例
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校遠足では、担当の上級生の話をよく聞き、進んで遊びを楽しむことができた。</li> <li>・学芸会では、役の感じが伝わるようにと台詞の言い回しや動きを自分で工夫しながら練習し、本番も大勢の前でも堂々と演じることができた。</li> </ul>
学級活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会では、賛成・反対の理由をはっきりさせて、分かりやすく自分の意見を伝えることができた。</li> <li>・学級整頓係として、毎日、靴箱のくつの入れ方のチェックを行い、また、帰りの会でもみんなに声をかけたり、ポスターを描いたり、学級全体が整頓を心がける雰囲気づくりに貢献していた。</li> </ul>
児童会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生を送る会では学級の代表に選ばれ、感謝の気持ちをしっかりと伝えることができた。</li> <li>・縦割り班でのごみ拾い活動では、目の付きにくい所まで熱心にごみを拾って、みんなが集めたごみを進んで校舎の後ろに運んでいた。</li> </ul>

## ■行動に関する事実及び所見

項目	文 例
基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの整理整頓への意識が高く、脱いだ体操着や給食着などもきちんとたたむなど、道具の使い方も丁寧にしっかりとした習慣が身に付いている。</li> <li>・目上の人に対して話すときや授業中は丁寧な言葉を選び、相手や場に相応しい言葉遣いは学級のお手本となっている。</li> </ul>
健康・体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間には、友達と校庭で元気に走り回り、校舎に入る時には、うがい・手洗いを欠かさずに行うなど衛生への意識も高い。</li> <li>・苦手な野菜も友達の声かけにより少しずつ食べようと努力し、丈夫な体を作るためにおかわりをするまでに成長した。</li> </ul>
自主・自律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような場面でも自分の考えを堂々とみんなに伝えることができる。また、自分が正しいと思ったことは周りに左右されず、実行することができる。</li> <li>・「発言を頑張る」という自分の目標を机の端に貼りつけ、いつでも振り返るように工夫し、その実現に向けてよく努力した。</li> </ul>
責任感	・給食や掃除当番などでも自ら仕事を探してきばきと行動し、仕事全体の状況を点検する力もある。

責任感	・生き物係として学級で飼っている生き物の世話を欠かさずに行っていた。決めたことは最後までやり遂げようとする姿勢が身に付いている。
創意 ・工夫	・配布・提出物集め係として、落ちや重なりがないように配り方や集め方を工夫して、みんなが困らないようにアイデアをいくつも考え実行することができた。 ・落し物係になり、種類ごとに入れ物を用意したり、見出しを付けたりと、どうしたら落し物を減らすことができるか、色々な工夫をして取り組むことができた。
思いやり ・協力	・困っている友達がいると放っておけずに、声をかけたり手伝ったりするなど優しい気持ちがあり、たくさんの友達から信頼されている。 ・いつも笑顔を絶やさず穏やかに学校生活を送り、一人でいる友達にも声をかける優しさがあり、誰とでも仲よく過ごすことができる。
生命尊重 自然愛護	・植物が大好きで、教室に置かれている植物には毎日欠かさず水遣りをしていた。また、世話の仕方などを図鑑で調べ、係の仲間にも教えていた。 ・学級園でモンシロチョウの幼虫を見つけ教室で大切に飼っていた。無事に成虫に孵ると、自然に返してあげようと友達に提案して実行した。
勤労奉仕	・清掃の時間には、黙々と分担された仕事に取り組んでいる。また、自分の仕事が早く終わると、他の掃除場所も気持ちよく手伝うことができる。 ・教室に物が落ちていたり拾ったり、給食の食材がこぼれていると拭いたり、みんなのために行動に起こすことができる。
公正 ・公平	・友達が遊びのルールを守らないときは、仲のよい友達でも理由を説明しながら注意することができる。また、トラブルが起きると、両方の言い分をきちんと聞き、解決に当たることができる。 ・友達の意見をよく聞きながらみんなが納得するように話し合いをまとめることができる。グループ活動でも、学級全体での活動でもリーダーシップを発揮している。
公共心 ・公德心	・清掃道具や体育道具が乱雑になっていることによく気が付き、進んで所定の位置に片付けることができた。 ・校外学習で電車に乗った時には、マナーを守り周りの迷惑にならないように気を付けることができた。

## ■児童の特徴・特技、学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動、表彰を受けた行為や活動

項目	文 例
特徴 ・特技	・幼児期からピアノを習っているので、学級で歌うときには進んで伴奏を行った。 ・漢字についての興味・関心が高く、漢字検定〇級に挑戦した。 ・地域のサッカークラブチームに所属し、レギュラーとして活躍している。毎朝登校する前に自主練を欠かさずに取り組んでいる。
社会奉仕 体験活動	・休日には、両親と一緒に地域の川の清掃活動に参加した。川がきれいになり、生物が住みやすい環境になるようにと意欲的にごみを拾っていた。 ・遠足に行ったときには、自分のごみでないものも友達と一緒に進んで拾い袋に集め、学校までしっかりと持ち帰った。
表 彰	・夏休みの思い出を大切に描いた絵が「〇〇コンクール」で銀賞として表彰された。 ・〇〇区の「健康な歯」の表彰児童として全校朝会で表彰された。

## ■児童の成長の状況にかかわる総合的な所見

項目	文 例
児童の 成長の 状況	・教科書、ノートなど学習に必要な道具を忘れることが多かったが、家庭と連携協力して、基本的な生活習慣が身に付くよう努め、改善を図った。 ・週の始まりや長期休みの後などに登校渋りが出るがあったが、家庭とも密に連絡を取り、遅れても必ず登校するようにすることで改善した。 ・できないことや困ったことに出会うとあきらめてしまう傾向が強かったが、放課後個別に取り組む時間を作ると落ち着いてできるようになってきた。 ・自分の思いを言葉にできずに、手がでることがあったが、落ち着いてからその理由を言語化させることで、次も同じような状況になった時の対応が身に付いてきている。



## 第3学年

### 各教科に関する所見

教科等	文 例
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を見て話したり聞いたりすることや、言葉の抑揚や強弱の付け方、話の間の取り方などの技能が高く、授業中の発言やグループでの話し合いの場面で学級のお手本となっていた。</li> <li>・ローマ字の学習に意欲的に取り組み、日常生活にあるローマ字表記を進んで探して来たり、友達とローマ字で文章を書くゲームをしたりと、学習したことを活用していた。</li> <li>・物語文や説明文での接続語の役割を理解して、文章の読み取りや作文の時に適切に活用していた。</li> <li>・スピーチ原稿を教師と相談しながら作り、相手に伝わるように、その理由や事例などを挙げながら、伝えたいことの中心がはっきりするような、とても堂々としたスピーチを行った。</li> <li>・グループでの話し合いでは、話し合う目的をみんなで確かめて、一人一人の意見で似ているところや違うところをはっきりさせようと、話し合いのポイントを押さえて司会役を務めることができていた。</li> <li>・学校図書館を活用して、辞典や図鑑などから調べたいことを集め、レポートに整理していた。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に見られるものづくりの仕事の種類やどのあたりに集まっているか、人々はどのようなことを考えているかなどを取材する方法を身に付け、学校の周辺地域を詳しく調べ、「地域マップ」にまとめた。</li> <li>・消防署や警察署は、地域の安全を守るために連携を取り合っていることを調べ、そこで仕事している人々の働きや役割を考え、「地域安全新聞」に分かりやすくまとめることができた。</li> <li>・地域の交通の様子や、児童館や公民館などの公共施設、土地の様子や利用の様子を調べて、「〇〇市紹介パンフレット」を作り、また、祖父母が住んでいた頃と街の様子の変化についても考えることができた。</li> <li>・スーパーや商店の見学では、見たり聞いたりして確かめたいことを事前にワークシートに書き、目的意識をもって臨み、発見したことや教えてもらって分かったことをメモして書くことができた。</li> <li>・家庭での買い物の様子や工夫を取材し、消費者の願いを分かりやすくまとめて発表した。</li> <li>・商品の陳列の仕方やお店の人の説明を聞き、「お店の秘密ポスター」作りに生かした。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2位数や3位数に2位数をかける計算の仕方を考える場面で、図や式や言葉に関連付けて自分の考えを表現していた。ノートには、自分とは違う友達の考え方も書いており、学級の手本となった。</li> <li>・自分の力で具体物や図を用いてわり算の意味を考え、それを友達と説明し合う活動を通して、理解を深めていた。その成果が、計算問題や文章問題を解く場面にも現れ、「算数が大好き」と話していた。</li> <li>・「三角形」の学習では、二等辺三角形や正三角形を詳しく観察したり作ったりすることを通して、辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素について、具体的に理解していった。</li> <li>・長さや重さの学習では、単位の仕組みに関心をもち、家庭学習で詳しく調べてきて授業で発表し、友達から賞賛されることもあった。測定場面でその知識を生かして、適切な単位を用いて数値化できていた。</li> <li>・「好きな遊び」調べの結果を棒グラフに表し、グラフの特徴を読み取り適切に表現していた。</li> <li>・分数と小数の考え方を比較し、「3人で分けた時など、使いやすいくところがある」と、そのよさを見つけた。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土やアルミ箔の重さを比較する活動を通して、実験や観察の仕方を身に付け、物の形が変わっても重さは変わらないことを明らかにし、自分の考えも書くことができていた。</li> <li>・風の力で動くおもちゃづくりに創意工夫を凝らし、風の力と物の動きの関係を調べ、その結果を図で表して説明することができた。</li> <li>・身の回りにある物で音を出したときの物の震え方を丁寧に観察し、その様子を記録して班での話し合いに生かしていた。</li> <li>・タンポポやチューリップなど校庭でも見られる様々な植物を観察して、似ているところや異なるところを見つけて、絵や言葉で表現することができていた。</li> <li>・昆虫の育ち方と体のつくりを学習すると、家で飼っているカブトムシを持ってきて、学習した内容と比べて分かったことを友達に具体的に説明していた。</li> <li>・太陽の光に当てた水の温度を計測する実験では、水の色や熱、光を遮断・反射する素材について身の回りの物から適切な物を選んで活用していた。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年での音遊びの経験を生かして、木や金属などを使って自分の音を作り、友達と表現し合い、音を作り出したたりそれらをつなげたりして聞きあうことを進んで行っていた。</li> </ul>

音楽	・音楽の学習がとても好きで、特に、鑑賞して味わったことを生かして、呼吸やリズムに気を付けながらきれいな声で歌うことができる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木切れや板材などの材料の特性を生かして自分のイメージを表現するために、色や形の組み合わせを工夫しながら、時間をかけてじっくりと作品を完成させていた。</li> <li>・友達の作品の形や色などについて、「色が暖かい感じがする」などと感じたことを表現したり、自分の作品は楽しい感じにするために工夫したりしたことを分かりやすく表現していた。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動では、友達と話し合いながら安全に注意して補助倒立ブリッジを完成させることができた。</li> <li>・跳び箱を苦手としていたが、友達の助言を受けながらあきらめずに練習に取り組んだ。</li> <li>・鉄棒では、前回りや抱え込み前回り、転向前下りなどを組み合わせて連続技をスムーズに披露した。友達のお手本となり、本人を目指して練習する友達も現れた。</li> <li>・小型ハードルを使った運動でも、自分なりのリズムを作ってスムーズに走りきることができた。</li> <li>・健康の保持増進のために生活リズムが大切なことの学習を通して、自分の生活リズムを見直していた。改善点をまとめ、日々の生活で実践できるように努力している。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「節度、節制」の学習では、時間を守ることの大切さについて考え、普段の生活においても時計を見て、見通しをもって生活することができた。</li> <li>・「礼儀」の学習では、真心をもって接する態度が大切であることを理解し、毎日の生活の中での挨拶や言葉遣いなどをしっかりと姿で示すことができた。</li> <li>・「勤労、公共の精神」の学習では、みんなのために進んで働くよさについて理解し、普段の生活における清掃活動でも、下足箱やトイレなどをきれいにし、進んで働くことができた。</li> <li>・「感動、畏敬の念」の学習では、人の心の気高さを感じ取る心が自分にあることに気付き、普段の生活の中で、美しい景色などを見つけて、感動することができた。</li> </ul>
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に英語で自分の好きな食べ物や持ち物などについて伝え合う活動を通して、英語でのコミュニケーションを楽しむことができた。</li> <li>・簡単な英語を使って、自分の体調や状態を伝えたり、相手に尋ねたりすることができるようになり、授業以外の場面でも友達とやり取りをする姿が見られた。</li> <li>・身を乗り出して ALT の先生の発語を聞き、綺麗な発音で果物や動物の名前を英語でいうことができていた。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇〇の町大好き」では、調べるテーマを自ら決め、家族や親戚に地域の歴史についてインタビューするなど、取材の仕方や調べたことの整理の仕方などを身に付けた。</li> <li>・地域に残る古い物や歴史について調べ、大人になっても伝えていきたいという地域への愛着が育った。</li> <li>・「マイテーマ発表会」では、季節ごとに変化する地域の川の様子についてまとめた。</li> <li>・障害のある人の立場に立って、誰もが暮らしやすい街づくりについて調べ、考えて、レポートにまとめた。</li> </ul>
総括的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初は、音読を一人でやらないなど消極的な態度があったが、学習の中で自信を付けるにつれ発言も多くなった。3 学期には音読を一人で言い、積極性が伸びてきている。</li> <li>・学習全般で発言が多く、集中して学習に取り組んでいる。分からないことも質問したり調べたりする姿は、学級でお手本となった。</li> </ul>

## ■特別活動に関する事実及び所見

項目	文 例
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸会ではナレーター役に立候補し、台本を読むだけにとどまらず、大道具の制作をかってでたり、台本にアレンジを加えたりするなど活躍していた。</li> <li>・音楽会では、木琴パートを担当し、粘り強く練習し、難しいリズムのあるメロディを当日は堂々と演奏することができた。</li> <li>・学級会では、理由を示しながら自分の意見を言うことができ、話し合いが行き詰まってしまった時にも、よいアイデアを常に考えようとする姿が見られた。</li> </ul>

■行動に関する事実及び所見

項目	文 例
基本的な生活習慣	・家に帰ったらすぐに明日の持ち物の準備をし、寝る前と登校前に再確認する習慣が身に付いている。
	・授業開始の時刻には、学習の準備を整える習慣が身に付いており、その姿が他の児童にも波及した。
健康・体力の向上	・天気のよい日の休み時間は必ず外で遊んでおり、休日も地域のクラブチームで活躍している。
	・教室に帰って来た際や給食の準備前には友達に声をかけながら手洗い・うがいを行っている。
自主・自律	・1年間で物語を100冊読むという目標を自ら設定し、学校や家庭で努力をし続け見事に目標を達成した。
	・友達と意見が違った時も、相手のことを考えながら話し合いを重ね、自分たちで解決しようとしていた。
責任感	・隣の学校との交流会では、担当となった役割を最後まで責任をもって果たした。
	・日直の日は必ず最後まで残り、教師と共に窓の鍵閉めを行った。どんな時でも自分の役割をしっかり行う姿には感心させられた。
創意・工夫	・係の仕事だけでなく、学級をよりよくしたりするための活動を色々と考え、新しい取り組みを提案してきた。
	・グループでの作品作りでは、独自のアイデアを提案し、作品をより独自性の高い物に仕上げる役を担った。
思いやり・協力	・困っている友達の力になることを当たり前とし、その優しさが学級全体に波及し、友達からの信頼も厚い。
	・男女分け隔て無く接し、リーダーシップもとれるが決して強引にせず、「協力」を大切に活動してきた。
生命尊重 自然愛護	・学校で飼育しているウサギを可愛がっており、飼育委員会のイベントには必ず参加している。
	・校庭の木や集まる生き物に興味をもち、季節ごとの変化を学級でも積極的に話題にしている。
勤労奉仕	・班の給食リーダーとなり、水が冷たい時期も率先して布巾を絞り、欠かさず準備をしていた。
	・清掃活動では、人が嫌がるような場所でも誠実に丁寧に雑巾がけをする姿には感心させられる。
公正・公平	・仲の良し悪しに関わらず、その場に応じて公平な判断ができる。
	・相手に応じて丁寧な言葉で話すことができ、様々な場面でほめられていた。
公共心・公德心	・自分の当番以外の場所でも、友達にも声をかけて清掃道具などを所定の位置に片付けることができた。
	・社会科見学で電車に乗った時には、友達にも呼び掛け、マナーを守ることに意識を向けて行動していた。

■児童の特徴・特技、学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動、表彰を受けた行為や活動

項目	文 例
特徴・特技	・漢字に詳しく、漢字ゲームなどではその力を大いに発揮し、友達から「漢字博士」と呼ばれている。
	・地域のバスケットボールチームに所属して技能を研いており、体育の学習ではキャプテンに選ばれ、バランスよく学級をチームに分ける力も発揮した。
社会奉仕体験活動	・少年消防団員として地域の活動に参加し、防災上の知識や技能を身に付けている。
	・地域の〇〇清掃に継続して参加し、自然の美しさや大切さを守り続けたい気持ちを、日記に綴った。
表 彰	・地域の野球チームでピッチャーのポジションを任せられ、市内の大会ではベスト4まで進出した。
	・関心の高い漢字練習に励み、進んで漢字検定を受け、□級に合格した。
	・ボランティア活動に1年間継続的に参加し、市長名の表彰状を受け取った。

■児童の成長の状況にかかわる総合的な所見

項目	文 例
児童の成長の状況	・言葉だけでなく、板書や個別のカードで指示を残すことで、学級のルールに対応できるようになった。
	・活動場所や内容を事前に個別に伝えることで、見通しをもって落ち着いて行動できるようになった。
	・家庭と協力し、生活リズムを整えたことで、明るい表情で登校し、落ち着いた学校生活を過ごしている。
	・目立たない親切や優しさを学級全体に伝えたことで、友達から認められることが増えてきた。

## 第4学年

### ■各教科に関する所見

教科等	文 例
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の目を見ながら、話の中心が何かを考えて話を聞く習慣が付いているので、自分の考えを述べるときも相手意識を高くもち、言葉の抑揚や強弱、間の取り方なども上手であり学級のお手本となっている。</li> <li>物語文の学習を通して、登場人物の様子や行動、気持ちや性格などを表す言葉をたくさん身に付け、語彙を豊かにし、それを感想や意見を書くときにも活用していた。</li> <li>文章から必要なことは何かを考えて読み取ったことを比較したり、分類したりして整理する力が付いている。また、分からない言葉などがあると必ず辞書や辞典を持ち出して調べる習慣が付いてきた。</li> <li>日本で長い間使われてきた慣用句や、故事成語などに興味・関心を高め、主体的に調べたことを「ことわざ辞典」に整理し、友達からも絶賛された。</li> <li>文章を書き終えた後に読み直し、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、よりよい文章に整えようとする姿勢と力が身に付いてきた。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>47都道府県の名称と位置とともに、自分たちが住んでいる県の位置や土地の様子を調べて白地図にまとめた。学校の図書室や地域の図書館からも資料を集め、必要な情報を工夫して整理した。</li> <li>清掃工場の見学では、様々な対策のおかげで、自分たちの健康な生活が維持されていることを知り、新聞にまとめて家族にも伝えることができた。</li> <li>ごみの学習では、ごみのゆくえを調べるうちにリサイクルについて関心をもち、自分にできるリサイクルを考え、家庭や学校で実践することができた。</li> <li>上水道の学習では、水が届くまでにはたくさんの人たちの工夫や努力があり、組織的、計画的に事業が行われていることを理解し、また、その水が再生されることも知り、「水のゆくえレポート」にまとめた。</li> <li>祭りなどの年中行事を守り続けている人へのインタビューや、博物館や資料館の見学を通して分かったことを年表にまとめたり、人々の願いや努力を考えて表現したりすることができた。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて四捨五入する位を決め、概数を用いることのよさを具体的な場面を挙げて説明できた。</li> <li>3年生までに学習して身に付けた、数の見方や計算の考え方などを生かして、小数の意味を考えたり、小数の計算の仕方を考えたりして、友達にも分かるように説明していた。</li> <li>図形の構成要素に着目し、平行四辺形の性質を調べて、分かりやすい説明図を完成させた。</li> <li>長方形や正方形の面積の求め方を考え、効率的・能率的な求め方として公式を理解していた。</li> <li>伴って変わる2つの量の関係を帰納的に調べる力があり、そのよさや使い方を友達にも上手に説明して、友達からも賞賛された。授業をねらいに方向付ける発言ができる。</li> <li>目的に応じて資料を分類整理し、表や折れ線グラフにまとめて、分かりやすく表すことができた。他教科の学習場面でもグラフから分かる特徴を読み取る力を発揮していた。</li> <li>問題解決の過程や結果を友達と説明し合うときには、図や式、言葉を有効に活用していた。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>袋や容器に閉じこめた空気や水の様子から、「空気が押し返す力をもっている」と予想を立てて、実験して分かったことを図や記号などを使って分かりやすくノートにまとめた。</li> <li>金属や水、空気は熱したり、冷やしたりするとどうなるかを予想して、それぞれの実験に取り組んだ。結果を関連させて同じような性質をもっていることを図で分かりやすく説明していた。</li> <li>乾電池や光電池で動く、モーターの仕組みについて高い課題意識をもって電流の大きさとモーターの動きの関係について考え、友達と話していた。</li> <li>自分の体に触れながら、骨や筋肉のつくりについてたくさん疑問を出し、ぜひ詳しく調べてみたいという意欲を高めた。体の動きと骨や筋肉との関係について分かったことを図に表していた。</li> <li>生活経験をもとにして、天気の様子と気温との関係について予想と観察・実測計画を立てて、グループの友達と協力して調べた。結果をグラフに整理して、そこから分かることをまとめていた。</li> <li>実験を行うことには意欲的だが、予想を立てたり、結果をまとめたりすることを苦手としていた。個別に声をかけ、自信をもたせるよう支援を工夫してきた。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな楽器に関心をもち、グループで役割を決め、いろいろな音の響きやそれらの組み合わせ工夫し、楽器の音色や重なり合う響きの美しさを味わっていた。</li> </ul>



音楽	・鑑賞の場面では、「激しい曲想が急に静かで落ち着いたものになるところが面白い」と、その曲や演奏全体を聞いて、雰囲気やその表情にまで気が付き、それを言葉や身体で表現することができていた。
図工	・作品のイメージを図に表し、木材をのこぎりで切り、接着剤を使ってつないで形を作っていた。その際、手や体全体を上手く使っていて、作業の仕方を友達にもアドバイスすることができた。 ・感じたことを話し合ったり、友達の考えを聞いたりして、形や色、表し方や材料による感じの違いをとらえるなど、作品のよさや面白さを味わっていた。
体育	・幅跳びでも高跳びでも、自分が最も踏み切りやすい位置を決めることの大切さに気づき、そこからの歩幅を考えてスタートの位置も決めるなど、運動の原理まで考えて練習をしていた。 ・跳び箱運動では、友達と見合いながら、体重を前傾することを意識し、繰り返し練習した結果、開脚跳びで5段を跳び越せるようになった。 ・毎日を健康に過ごすためには、一日の生活の仕方が深く関わっていることに気づき、どのような過ごし方がよいかを考え、それを実践する計画を立てることができた。
道徳	・「個性の伸長」の学習では、自分の個性を磨いていく大切さを理解し、普段の生活でも自分の夢に向かって、絵やイラストを描くなど、自分らしさを磨くことができた。 ・「友情、信頼」の学習では、親友をつくる大切さを考え、普段の生活でも友達のことをよく理解し、信頼できる親友をつくることができた。 ・「規則の尊重」の学習では、よりよい社会を守るためにきまりがあることを理解し、普段の生活でも、廊下を走らないことなどの学校のきまりについて声をかけることができた。 ・「生命の尊重」の学習では、自分の命は多くの人に支えられていることを知り、給食時間では「いただきます」を、生命をいただいているという気持ちをこめて言うことができた。
外国語活動	・「Do you like ~?」の学習では、積極的に友達とやりとりして、英語特有の言語活動の楽しさを十分に味わっていた。 ・歌やチャンツの中で音と一致した簡単な文字を書くことに関心を高め、必ずと言ってよいほど新しい単語のつづりを覚えるので友達も驚いていた。 ・イラストや写真を見ながら、ALTの先生や友達の助言を得て、自分の考えや気持ちを英語で表現していた。
総合	・社会科での学習を発展させて、ごみの3Rについて図書館での資料探しやインターネットでの資料収集に力を注ぎ、集めたものの中からみんなに伝えたいことを絞り、構成を工夫したパンフレットを作った。 ・「自分の好きな都道府県」では、(祖父母の)田舎である北海道を取り上げ、テレビ電話で親戚にインタビューをしたり、インターネットで資料を集めたりするなど情報収集力を高めた。 ・地域にある特別養護施設を訪問し、お年寄りの方々との会話や準備してきた歌唱を披露することを通して、立場が異なる人の理解を深めることができた。
総括的	・すべての学習活動でよく指示を聞き、学習の要点をおさえているので、丁寧に作業を進めることができる。 ・自分の考えや思いをその理由を示しながら、間違えを恐れずに発表する姿勢が見られる。チャレンジ精神旺盛な性格で、友達を喚起している。

## ■特別活動に関する事実及び所見

項目	文 例
学校行事	・運動会の表現では、最初は苦手としていたダンスも休み時間に友達に教えてもらうなど懸命に努力し、当日までに体全体で踊り切ることができるようになった。 ・全校遠足では、行き帰りはしっかりと下級生の手を引きながら歩いたり、ペアの子の体調を気遣いながら遊んだり、上級生としての役割を果たすことができた。
クラブ活動	・毎月の器械体操クラブでの活動を楽しみにし、マットでは少し難しい技にも挑戦してできるようになった。 ・科学クラブでは、担当の教員に自分から持ち物を聞かに行き、友達にも伝えるなど積極的に行動し、月1回しかないクラブの時間を大切にしていた。
学級活動	・話し合い活動では、根拠を挙げて自分の意見を分かりやすく伝える工夫をして発表していた。 ・司会グループとして、話し合う内容の計画を立て、たくさんの人が意見を発表できるように会を計画した。

## ■行動に関する事実及び所見

項目	文 例
基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物の整理整頓がしっかりとできているので、忘れ物や落とし物がなく、授業に集中できている。</li> <li>・「5分前行動」が身に付いており、友達にも声をかけながら、決められた時間は必ず守っていた。</li> </ul>
健康・体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の持久力を高めようと、休み時間や放課後に友達と校庭を走る姿が見られた。</li> <li>・規則正しい生活をして健康を保とうと、毎日早寝早起きを心がけ、明るくはつらつとしている。</li> </ul>
自主・自律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく、前向きにはつらつと学校生活を送る姿は、学級全体のお手本になっている。</li> <li>・学習や行事において、自分の目標をしっかりと設定し、最後まで粘り強く取り組むことができた。</li> </ul>
責任感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係り活動でも当番活動でもやるべきことを明確にし、学級のためにという気概で役割を果たしていた。</li> <li>・班長として、常に全体のことを考えて、グループの活動を活発にリードして行動することができる。</li> </ul>
創意・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの全員が楽しめるような新聞を作ったり、給食が早く食べられるように声かけをしたりしていた。</li> <li>・学びを振り返りやすいよう、マーカーやラインを用いて分かりやすいノートづくりを工夫していた。</li> </ul>
思いやり・協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泣いている友達がいると、相手がどのような気持ちなのかを考え、関わり方を工夫して接することができる。</li> <li>・欠席した友達へのお休みカードを忘れずに書いたり、休み時間に一人でいる友達を見つけると、欠かさずに声をかけたりと、友達を思いやる行動が多く見られた。</li> </ul>
生命尊重 自然愛護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の水やりや金魚のえさやりなどを毎日忘れることなく、小さな命を大切にする姿が見られた。</li> <li>・2分の1成人式を通して、多くの人に支えられていることに感謝し、自分の命とともに生命あるものを大切にしよう意識して行動する姿が見られた。</li> </ul>
勤労奉仕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人のために働くことを喜びと感じ、人に言われる前に気付いて行動に移すことができる。</li> <li>・清掃活動では、誰より早く掃除場所に行き、時計を見ながら友達にも声をかけながら掃除した。</li> </ul>
公正・公平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の分け隔てなく活動することの大切さを発言し、みんなで協力する学級の雰囲気を作っていた。</li> <li>・その場の状況に応じて、特定の友達が不利にならないように配慮できる心の豊かさがある。</li> </ul>
公共心・公德心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習では、歩行の仕方でもわりの人へ迷惑をかけないように友達にも声をかけていた。</li> <li>・教室に落ちている物を見つけると必ず拾い、持ち主を探していた。学級にもその行動が広がった。</li> </ul>

## ■児童の特徴・特技、学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動、表彰を受けた行為や活動

項目	文 例
特徴・特技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の少年野球チームに所属し、毎週土曜日、日曜日の練習や試合に欠かさず参加した。</li> <li>・地域の太鼓クラブで週に2回の練習を重ね、夏祭りでは、多くの人の前で見事な太鼓を披露した。</li> <li>・幼少の頃から水泳を習っており、水泳大会では、得意の平泳ぎで市の新記録を出した。</li> </ul>
社会奉仕体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業で美化について考えたことを友達にも声かけを実践し、その姿勢が学級にも広がった。</li> <li>・地域の高齢者施設を訪問し、飾り付けを一緒に行ったり、歌を一緒に歌ったりして七夕を楽しんだ。</li> </ul>
表 彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の野球大会に参加し、優勝を勝ち取り、都大会に出場した。</li> <li>・幼少期から書道を習っており、市の書き初め大会で優秀賞を受賞した。</li> </ul>

## ■児童の成長の状況にかかわる総合的な所見

項目	文 例
児童の成長の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初は一つ一つを担当に尋ねないと行動できないような様子が見られたが、後半になり、自分の判断で行動できるようになってきた。</li> <li>・友達や担任に間違いを指摘されると感情が抑えられなくなり、持ち物をすべて床に投げるなどの行為が見られたが、指摘された意図を丁寧に伝えていくとその頻度が減ってきた。</li> <li>・よくないことだと分かっているが、友達の意見に流されてしまうことが多くあったので、自分の意見を言うことに自信をもたせるよう支援してきた。</li> </ul>



## 第5学年

### 各教科に関する所見

教科等	文 例
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の違いに気付き、日常の会話や授業中の発言と文章を書くときに、それぞれの言葉の特色や役割のことまで考えて使い分けることができていた。</li> <li>・自ら目標を立てて漢字練習を継続し、文章に漢字を正しく使えるようになっただけでなく、漢字熟語の意味などを理解して日常的にも活用し語感が豊かになっている。</li> <li>・習字の学習では、筆の穂先の動きを意識して、書き始めから書き終わりまで自然につないでリズムよく書くことができ、書き初め展では金賞を受賞した。</li> <li>・ディベートの学習では、目的に応じて話の内容が明確になるよう話の構成を工夫したり、事実と意見とをはっきり区別したり、説明を付け加えるなど工夫し、説得力を身に付けた。</li> <li>・物語文や説明文から読み取ったことなどをその目的や意図に応じて詳しく書いたり、簡単に要約したりして表現する力が付いた。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳や地球儀を使って、日本の周りの海洋や主な国の位置、「領土の範囲」などを調べて白地図に整理した。</li> <li>・国土の様子について、主な山地や山脈、平野などの様子を調べ、自然環境の特色を考えて発表した。</li> <li>・日本の食料生産は、自然条件を生かして行われていることを調べ、そこに携わっている人々の願いや工夫、努力について考え、「食料生産紹介パンフレット」にまとめ、学年発表会でも上手に説明した。</li> <li>・自動車工業について、インターネットを活用しての調べ活動や工場見学でのインタビューを通して、日本にとって重要な産業であることやそこに関わる人々の工夫や努力について「工業新聞」にまとめた。</li> <li>・交通網の広がりや、外国との関わりなどに着目して、日本の産業が発展するには、運輸や貿易の果たす役割が大きいことを考え、討論会では自分の考えを表現することができた。</li> <li>・自然災害が多発している事実をきっかけに、災害から国民を守るために行われている取り組みや、森林が国土の保全などに果たしている役割について必要な資料を集めて調べることができた。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに身に付けてきた数の見方や考え方を働かせて、奇数や偶数、約数や倍数について、観点を決めて数の仲間分けをしたり、数の構成について考えたりすることができていた。</li> <li>・小数のかけ算やわり算の計算の意味や計算の仕方について、計算のきまりや数直線図を用いて分かりやすく考えを発表し、質問に対しても図や式、言葉を関連付けて説明することができた。</li> <li>・三角形や平行四辺形などの基本的な平面図形の面積の求め方を、既習の求積公式を使うことはできないかと考え、等積変形や倍積変形などの多様な考え方で解決した。</li> <li>・割合の意味について正しく理解し、小数や百分率を用いて問題を処理することができた。</li> <li>・割合の学習では、目的に応じて円グラフや帯グラフを選び、学習した割合の考え方をを使って数量の関係をグラフに表すことができた。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物が水に溶ける量と温度との関係について調べるには、条件を揃える必要があることを筋道立てて説明し、実験方法について全体検討の質を高めていた。</li> <li>・学習経験を生かして振り子の規則性を調べるのに必要な条件制御について考え、友達と協力しながら実験に取り組み、結果を表やグラフを使ってノートにまとめることができた。</li> <li>・電流の大きさやコイルの巻き数などに着目し、電磁石の強さを変化させる条件を調べ、結果から分かったことを友達と話し合って整理していた。</li> <li>・発芽に必要な条件を調べる学習では、生活経験を根拠にして予想を立て、観察記録を丁寧に取って、水と空気、温度が必要であることを自分の言葉でまとめることができた。</li> <li>・観察の目的をはっきりさせてメダカを育て、魚が卵を産む様子や卵が変化する様子について丁寧な記録を取り、友達と情報交換していた。</li> <li>・現地で川の流れを観察し、水の流れの速さと地形の関係について気が付いたことを図に表していた。</li> <li>・数日間の雲の動きを観察し続け、それと気象衛星の写真とを比較して自分の考えをノートにまとめていた。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その曲の特徴にふさわしい呼吸や発音の仕方を工夫して上手に歌うことができる。その姿が学級や学年での合唱場面でもお手本となり全体を引き上げていた。</li> <li>・曲の特徴を意識して聞き取り、合奏では、楽器の特徴を生かしてどのように演奏したらよいか考えて演奏していた。</li> </ul>

図工	・用具や材料の特性を生かしたり、形や色、用途や構成を工夫したりしながら作品を仕上げた。
	・作品を見ながら友達の工夫や自分との違いを見つけることができた。
	・粘土を力いっぱいこねてランプシェードを作ることができた。光がきれいにできるように、工夫して穴をあけることができた。
体育	・ハードル走では、自分の目標に合わせてインターバルの距離やハードルの台数などを変えて練習し、リズムカルに走り超えることができたようになった。
	・ラグビーでは、友達とともにどうすればゴールできるか相手の動きに注目した作戦を立てて、チームワークよく励まし合いながら楽しく運動することができた。
	・事故やけががどんな原因で起こるかについて、友達と意見を交流させながら理解を深めることができた。
	・心の発達や心と体の関係、不安や悩みへの対処の仕方について、自分に置き換えて考えることができた。
家庭	・自分の生活の場を振り返り、整理整頓の意義について考え、不用品の活用のアイデアを提案した。
	・お茶の入れ方やサラダ作りなど、学習したことを実生活に活かすことができた。
	・手縫いの仕方や小物づくりに関する基礎的な技能を身に付けて、意欲的に作品を仕上げた。
	・ランチョンマット作りを通して、ミシンの使い方を身に付け、友達にも分かりやすく教えていた。
道徳	・「善悪の判断、自律、自由と責任」の学習では、自由と自分勝手の違いを考え、普段の生活において、自由だからできることのよさを考えながら、普段の生活を高めることができた。
	・「相互理解、寛容」の学習では、相手の立場に立って考え、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することを学び、普段から様々な仲間と交流を深め、自分の好き嫌いに関係なく多くの友達をつくることができた。
	・「公平、公正、社会正義」の学習では、差別や不公平さなどのいじめ問題について考え、日常の中にある差別的な発言や偏見に対する問題意識をもって生活することができた。
	・「生命の尊重」の学習では、自分の生命が多くの人に支えられて生かされていることを考え、（自分の生命がつながっていることを意識して、）普段の生活において、生命の尊さに感謝しながら生きることができた。
外国語	・「What do you want ~ ?」を用いて、自分の考えや気持ちなどを友達と伝え合う活動に積極的に取り組み、また、アルファベットの太文字と小文字の読み方を一致させることができたようになった。
	・「I study ~ on ~」や「What do you study on ~ ?」を用いて、自分が考えた時間割について友達に伝えたり友達のものを聞いたりして、英語で話そうとする積極的な態度が身に付いてきている。
	・外国語の授業全般を通して、相手意識をもって学んだ言葉を丁寧に発音しようとしていたり、相手の言葉をうなずきながら聴いたりする基本的な姿勢が身に付いた。
総合	・オリンピック・パラリンピックの歴史を調べ、プレゼンテーションソフトを使って説得力のある発表をすることができた。
	・「未来の我が街」という課題を設定し、社会科や理科で学習したことを生かして、「持続可能な社会」という視点から、自然エネルギーを活用した街の姿を描いた。
	・特別支援学校との交流会で、心身に障害のある同年代の人と直接交流することで、自分たちができることはないかを深く考え、具体的な取り組みを提案した。
総括的	・問題の意図や学習のねらいを考え、確実に理解しようと落ち着いて学習する姿勢が身に付いてきた。
	・苦手意識をもっていることにもあきらめずに、繰り返し練習に励み、精一杯の力を出す感覚を身に付けた。
	・どの教科に対しても意欲的で話をよく聞き、分からないことは積極的に質問していた。また、ノートやメモの取り方はとても工夫されており、友達から賞賛された。

## ■特別活動に関する事実及び所見

項目	文 例
学校行事	・運動会の組体操では、3段タワーの大技に挑戦し、休み時間や放課後の練習にも熱心に取り組み、本番では友達と協力してタワーを作りあげることができた。
	・6年生を送る会では、会場準備や司会原稿の作成などのたくさんの仕事を、友達とアイディアを出し合いながらよりよいものにしようと努力していた。
	・移動教室では実行委員に立候補し、率先して行動することをモットーにリーダーシップを発揮した。
学級活動	・学級のみながよりよい生活を送るための具体的な取り組みを考え、活動計画を立て、自分たちで組織的・計画的に話し合いを進めて課題を解決することができた。

学級活動	・話し合い活動では、自分の意見に固執せず、友達の意見のよいところを素直な気持ちで受け入れることができ、柔軟な発想で活動を盛り上げることができた。
児童会活動	・集会委員として、全校児童が楽しく参加できるようにと考え、積極的に企画、運営をすることができた。 ・代表委員会では、学級としての意見を整理して述べ、学校をよりよくするための取り組みを提案していた。
クラブ活動	・バドミントンクラブの副部長として部長をサポートし、活動がスムーズに進むよう努めていた。 ・クラブの副部長として、全体に声をかけて準備をしたり、積極的に意見を出したりしていた。

## ■行動に関する事実及び所見

項目	文 例
基本的な生活習慣	・自分の持ち物だけでなく、整理整頓が苦手な友達にも声かけをするなど教室全体に目を向けていた。 ・感謝すべきときに素直に「ありがとう」と言葉が自然と出て、友達から好感をもたれている。
健康・体力の向上	・休み時間には友達を積極的に誘って校庭へ行き、みんなのできる遊びを選んで体を動かすことができた。 ・手洗いやうがいをするなど、衛生への意識が高く自分の健康管理がしっかりできている。
自主・自律	・学級全体が騒がしい時にも、その場面でやるべきことをしっかり考え、流されることなく行動できる。 ・学習や行事等どんな場面でも、課題意識を高くもち、目標を決めてその実現に努めていた。
責任感	・学級をよりよくするにはどうしたらよいかという視点で物事を考え、責任をもって行動することができた。 ・係の仕事や掃除当番の仕事など、決められたことを友達と協働してやり遂げることができた。
創意・工夫	・係の仕事や当番活動では、クラスを楽しくするためのアイデアを出し、実行することができた。 ・清掃の仕方を工夫し、効率よくきれいにできる方法を考え、実行したことでみんなから感謝された。
思いやり・協力	・仲間に入れずにいる友達への声かけや、欠席した友達への連絡なども自ら引き受けていた。 ・自分の清掃分担が終わると大変そうなところに手伝いに行く姿は、学級全体のよいお手本となった。
生命尊重 自然愛護	・校庭の草花や昆虫などに目を向け、その変化を話題にするほど動植物の生命に関心を高めて生活していた。 ・社会で起きる悲しい事件に心を痛め、生命を大切にすることへの自分の意見を作文に書いた。 ・人間の生命の尊さや動植物の生命への畏敬の念を誰よりも強くもっている。
勤労奉仕	・頼まれた仕事は快く引き受け、見返りを求めずにてきぱきと働く貢献する姿は、クラスのお手本になった。 ・全校奉仕活動では、下級生の面倒を見ながらも自ら仕事を見つけて活動していた。
公正・公平	・友達の気持ちを思いやることができ、誰とでも仲よく接するので、友達からの信頼も厚い。 ・グループ活動のとき、仕事分担が公平になるように心がけて話し合いを進めることができた。
公共心・公德心	・学校生活を支えている人々の気持ちに共感し、自らみんなのためになることに意欲的に取り組んだ。 ・公共施設が地域にある意味を意識し、大切に使用しようと学級、学年、全校に呼びかけていた。

## ■児童の特徴・特技、学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動、表彰を受けた行為や活動

項目	文 例
特徴・特技	・歌うことが大好きで合唱団に所属し、定期演奏会では素敵な表情と歌声で豊かに表現した。 ・体操クラブで身に付けた基本の動きや美しい動作ができ、器械運動にも生かされみんなのお手本となった。
社会奉仕体験活動	・地域の活動に積極的に参加し、町の清掃や定期的なリサイクル活動を地域の方々と取り組んでいる。 ・ボランティア活動の大切さをよく理解し、高齢者との交流会では積極的に関わりをもっていた。
表 彰	・「子どもの意見主張コンクール」に意見文を出品して入選し、全校の前で堂々とした姿で主張を述べた。 ・図工で身に付けた絵画の技能を発揮して市の「環境ポスター」に出展し、優秀作品に選ばれた。

## ■児童の成長の状況にかかわる総合的な所見

項目	文 例
児童の成長の状況	・ 友達の考えや意見に流されがちであったが、してはいけないことはしてはいけないとはっきり言えるようになってきたところがこの1年間の大きな成長点である。
	・ つまずくとすぐにあきらめてしまうところがあったが、最後まで取り組むために個別の指導をしたり、友達の励ましの声を聞いたりして、少しずつやり遂げられるようになってきた。
	・ 自己主張が強すぎ友達を批判してもめることが多かったが、徐々に寛容さを身に付けてきている。相手の意見を聞くという指導を素直に受け入れられるようになってきた。

## 第6学年

### ■各教科に関する所見

教科等	文 例
国語	・ 語句調べの学習を通して、語句と語句の関係や語句の構成などに関心を高め、身に付けたことを進んで活用しているので語彙も増え、言葉の使い方も学級のお手本になっている。
	・ 物語文や説明文を読んで自分が思ったことや考えたことを踏まえて、聞き手に伝えようと表現の仕方を工夫して朗読することができるので、友達からもぜひ模範読みをしてほしいと頼まれることもあった。
	・ 古文や漢文に関心が高く、教科書に出ていないものを持ってきて学級みんなに紹介していた。
	・ スピーチコンテストに向けて、テーマを決め、必要な情報を集めて話す目的や意図に応じて分類整理し、伝えたい内容が明確になるように話す構成を工夫して台本を作ることができた。
	・ 友達の考えを尊重しながら、互いの立場や意図を明確にして話し合い、考えを深めることができる。
	・ 「序論－本論－結論」という文章全体の構成を常に意識しながら、筋道の通った分かりやすい文章を書くことができ、作文が苦手な友達の相談役としても力を発揮していた。
社会	・ 日本国憲法の学習では、基本的人権の尊重に興味をもち、身の回りの権利と自分との関わりについて調べることを通して、自分としての考えをまとめることができた。
	・ 歴史上で活躍した人物に興味をもち、進んで図書館や博物館に行き業績を調べ、まとめる際にはその人物の生き方から学んだことを自分の意見として書いていた。
	・ 江戸時代の庶民の暮らしに注目し、それまでの時代との変化や現代に伝わるものなどを調べ、江戸時代を支えた人々の業績を整理して新聞にまとめることができた。
	・ 人物と業績が結び付かず、覚えることができないと苦労していた歴史上のでき事について、エピソードや時代背景と関連させて学習することが効果的であると助言した。
	・ 日本は世界平和のために重要な役割を果たしていることを調べる学習で、青年海外協力隊の方に進んでインタビューし、日本が世界で果たすべき役割について自分の考えをもつことができた。
算数	・ 分数の乗除の学習でも、分数の意味や表現の仕方に着目して、計算の意味や計算の仕方を数直線を用いて分かりやすく説明し、その発表が学級全体の理解を深めることにつながった。
	・ 二つの図形の関係に着目して、5年生の合同の学習をもとにして、拡大、縮小の関係にあることを理解した。
	・ 既習の三角形や四角形などの基本図形について、線対称や点対称という視点から見直すことができた。
	・ 円の面積の求め方を考えるとき、円の内側にできる正方形と外側にできる正方形との関係から、円の面積の大きさに見通しをもち、その見方や考え方を生かして求積方法を考えていた。
	・ 体積の求め方は、底面に高さが重なったものが体積だから、底面×高さで求められる、というように考えの根拠を明らかにして説明することができた。
	・ 観察や構成、作図などの活動を通して、線対称と点対称の意味について正しく理解することができた。
	・ 比例の意味と性質を理解し、2つの量が比例関係にあるかを判断したり、その関係をグラフに表したりするなど、発展的な問題を解決する力を付けた。



理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木片や紙を燃やすと二酸化炭素が発生することを、石灰水を用いて演繹的に説明することができた。実験結果から導き出された考えを友達に分かりやすく伝える表現力も高い。</li> <li>・実験の手順を間違えたり、分担を守れなかったりして班での活動がうまくいかないことがしばしばあった。実験や観察方法の見通しをもてるよう助言することがその支援に有効であった。</li> <li>・水溶液に溶かした金属や水溶液から取り出した物に着目し、水溶液の性質や働きについて根拠を挙げながら自分の考えを説明することができた。</li> <li>・身の回りの様々な道具を用いて、てこの規則性を見つけ、図解で分かりやすく表現した。</li> <li>・発光ダイオードの点灯や電子オルゴールの音の発生、モーターの回転などから共通することを見だし、電気の働きについて、生活の中で効率よく活用されていることをまとめることができた。</li> <li>・自分や動物の体に関心をもち、他の動物と比較したり関連付けたりして、生命を維持するために様々な臓器があり個々の働きについて調べ、体のつくりへの理解を深めた。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律の音域の変化にも気付くことができ、それは音の重なりが少しずつ変化しているからだを根拠を挙げて曲全体の構造を説明することができた。</li> <li>・友達と関わりながら、進んでいろいろな音を選択したり組み合わせたりして即効的に音を表現することができていた。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の枝や石を使い、それらの材料の特徴を生かしながら、いろいろ組み合わせを工夫して、発想豊かな作品を仕上げることもできた。</li> <li>・ゴッホの絵画に関心をもち、ゴッホのいろいろな作品に触れながら、自分なりに作品のよさや美しさを見つけることができた。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動でも鉄棒でも、運動を楽しく安全に行うための留意点を常に意識するとともに、これまでに身に付けてきた技を発展させる視点をもって取り組んでいた。</li> <li>・表現したいことをイメージし、一連の流れを工夫して即興的に表現したり、友達と話し合っグループでひとまとまりの動きに表現したりすることの楽しさを味わった。</li> <li>・自分の泳力に合った課題を決めて、進んで授業に取り組み、その成果が出て目標を達成することができた。</li> <li>・ソフトボールでは、チームとして守備の隊形をしっかりとることを中心に作戦を立ててプレーした。</li> <li>・生活環境によって起こる病気の予防を意識して、健康によい生活習慣を心がけようとする姿勢が見られた。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンで縫う技能を高め、直線縫いに加えて曲線部分も綺麗に縫い、お気に入りのエプロンを仕上げた。</li> <li>・調理実習では、安全で効率よく作業が進むように友達と話し合っ調理し、楽しく会食した。</li> <li>・季節の変化に合わせた住まい方や、整理整頓、清掃の仕方について、生活経験を想起しながらよりよいものを考え、実践する計画を立てた。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「希望と勇気、努力と強い意志」の学習では、困難を乗り越える人間の強さについて考え、普段の生活の中でも、自分で決めたことを最後まで粘り強くやりきる姿がみられた。</li> <li>・「親切、思いやり」の学習では、相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるかを考え、困っている人や友達を見つけたとき、相手をよく見て、見守るなどの一番適した親切をすることができた。</li> <li>・「よりよい学校生活、集団生活の充実」の学習では、（みんなで協力し合っ楽しい学級や学校をつくることを考え、）児童会やクラブ活動の時に下学年の子と協力して取り組むことができた。</li> <li>・「よりよく生きる喜び」の学習では、未来に向かって強く生きていこうとする考えをもち、自分の夢に向かって、普段から苦手なことにも挑戦する姿を多くみることができた。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Can you ～？」の学習を通して、友達との対話を積極的に行い、「できる」「できない」という表現に十分に慣れ親しみ、日常場面でも活用する姿も見られた。</li> <li>・「I want to go to ～」や「Where do you want to go？」を使って主体的に友達とコミュニケーションを図る活動で、相手意識をもってまとまった話を聞いたり伝えたりすることができた。</li> <li>・外国語の授業全般を通して、世界には様々な言語や文化があることや、様々な夢をもつ同世代の児童がいることや、英語と日本語とでの職業を表す語の成り立ちを知り、言語の面白さに気付くことができた。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様々な職業に就いている方々へのインタビューを通して、誇りをもって仕事をしていることや社会に貢献する気持ちをもっていることなどを学び、自分の将来について考えを深めていた。</li> <li>・「多摩川を守ろう」の学習では、自ら決めた課題を追究する過程で新たな課題を発見し、さらに追究するという学びを通して、問題解決力を高めた。</li> </ul>



総合	・世界で活躍する日本人を調べ、特に、ノーベル賞を受賞した日本人の足跡を辿ることを通して、日本人の勤勉さ創造性について感動し、日本人としての誇りをレポートの中で表現していた。
総括的	・知的好奇心に富み、一つの課題から次の課題へと自問自答しながら問題解決する姿勢が身に付いている。 ・授業全般に渡って意欲的に取り組み、挙手や発言も活発で、学級の学習活動の質の向上に貢献していた。

## ■特別活動に関する事実及び所見

項目	文 例
学校行事	・日光移動教室では、東照宮について積極的に調べ、現地での見学を通して江戸時代の政治や文化への関心を高めた。行動班の班長としてもハイキングでグループをまとめることができた。 ・運動会の白組応援団長に立候補し、下級生の手本となる態度で立派に大役を務めた。
学級活動	・話し合いの進行役として、提案された議題を整理し、計画的に進め、総意としてまとめる力をもっている。 ・レクリエーション係として、クラス全体の和を大切にするために休み時間のレクリエーションを企画・運営した。
児童会活動	・代表委員会の委員長になり、児童会組織の趣旨を理解し、それを全校に分かりやすく説明した。 ・保健委員会の委員長として、健康を守るための方法について全校児童に紙芝居で伝える活動に積極的に取り組んだ。
クラブ活動	・球技クラブの部長として下級生の面倒を見ながら、練習やゲームを企画・運営してリーダーシップを発揮した。 ・音楽クラブでは、楽曲決めから楽器分担など、話し合いを上手にまとめていた。自己の練習に積極的に取り組みながらも、下級生の練習に優しく寄り添う姿も見られた。

## ■行動に関する事実及び所見

項目	文 例
基本的な生活習慣	・一週間をどのように過ごしたらよいか、見通しをもって生活しているので、友達からも信頼されている。 ・何事も計画的に準備する習慣が身に付いていて、年間忘れ物ゼロを達成することができた。
健康・体力の向上	・季節を問わず必ず手洗いうがいを実行し、健康に気をつける姿勢が友達のお手本となっていた。 ・持久走月間には、休み時間や放課後に友達と声をかけ合いながら自主的に校庭を走り、体力を向上させた。
自主・自律	・最高学年としての自覚が芽生え、乱暴な言葉遣いが少なくなり、責任をもって低学年の面倒を見ていた。 ・色々な場面で自主的に判断できる力が付いてきた。低学年のトラブルに直面したときには、まず双方の話を聞き、気持ちを落ち着かせてから担任の先生に報告して解決することができた。
責任感	・入学した1年生の教室で、絵本の読み聞かせやカードゲームなど、1年生に喜んでもらえるような活動を工夫し、お世話係の仕事に生き生きと取り組んでいた。 ・飼育委員会では、自分の担当の日は雨の日でも必ず朝早く登校し、うさぎ小屋の世話をするなど自分の仕事は最後まで責任をもって務めることができる。
創意・工夫	・係活動では、仕事内容の様々なアイデアを出したり、月々のノルマを設定して達成したり、新しい取り組みを進める姿勢に学級全体が刺激を受けた。 ・外国語活動で学んだ英会話を学習発表会での劇の一部に取り入れ、学んだことを生活に生かそうとするなど、他にも生活全般に創意工夫が見られた。
思いやり・協力	・最上級生として、低学年の面倒をよく見ているので、多くの下級生から慕われている。 ・友達のよいところを素直に認めることもでき、みんなから信頼されている。
生命尊重 自然愛護	・クラスの水槽が汚れているのを見ると自主的に隅々まで洗い、生き物の気持ちに寄り添って世話をすることができる。 ・移動教室のハイキングで触れた自然に関心をもち、その時のゲストティーチャーによる自然保護の話に真剣に耳を傾けていた。
勤労奉仕	・全校清掃では、下級生の面倒を見ながらも、自ら仕事を見つけて活動した。働くことを嫌がらず、積極的に行動する姿は下級生の手本となった。 ・卒業に向けて、6年間お世話になった地域に感謝の気持ちをもって、地域清掃などに取り組み、「奉仕」の大切さを実感した。

公正 ・公平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でもよいところをもっているという視点で関わり、公平に接することができるので、友達からの信頼が厚く、リーダーとしての自覚も育ってきた。</li> <li>・場所や相手に応じた言葉遣いができ、特に目上の人に対する言葉遣いや態度がしっかりとしていると他学年の教員からも評価された。</li> </ul>
公共心 ・公德心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活や集団生活のルールを守ることの必要性について理由をあげて説明できるので、友達にもよく声をかけられ、それが学級全体の規範意識を高めた。</li> <li>・ボールを片付けたり、ゴミを拾ったりすることができ、その公共心は下学年の模範となっていた。</li> </ul>

## ■児童の特徴・特技，学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動，表彰を受けた行為や活動

項目	文 例
特徴 ・特技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の野球クラブに所属し、キャプテンでピッチャーを務め、夏の大会では優勝して活躍した。</li> <li>・3歳の頃から器械体操を習っており、基本の動きを十分に身に付けた美しい動作ができ、体育の授業のマット運動にも生かされていた。</li> <li>・合唱コンクールでピアノ伴奏者として見せた、ピアノの練習量と努力する姿勢は素晴らしいものだった。</li> </ul>
社会奉仕 体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のもちつき大会に進んで参加し、朝早くから地区委員会のお手伝いを積極的にしていた。</li> <li>・地域の育成会の活動に参加し、地域清掃や定期的なリサイクル活動を地域の方々と協力して行った。</li> </ul>
表 彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の健康優良児として表彰され、歯みがきや口内を清潔に保つことの大切さを学級全体に伝えた。</li> <li>・書道初段の腕前をもち、書き初めの時期には学校代表として展覧会に出品した。</li> <li>・少年の主張大会で「生き物と環境」について発表し、学校代表として県大会に出場した。</li> </ul>

## ■児童の成長の状況にかかわる総合的な所見

項目	文 例
児童の 成長の 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最上級生としての自覚が強まり、学校のために進んで仕事を引き受けるなど、全校的な視野で物事を考えられるようになるまで成長した。</li> <li>・縦割り班の班長として、年間を通して活動に意欲的に取り組み、特に、低学年児童への配慮がきめ細かく、最高学年としての自覚に満ちていた。</li> <li>・卒業を控え、学級をまとめようと意識するようになり、その献身的な言動に心を動かされる友達もいた。</li> <li>・物事の背景や周りの人の気持ちをよく察することができるようになり、どのようなタイミングでどのような言葉をかければよいのか分かっているようで、様々な友達との関係が良好である。</li> </ul>

文部科学省「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について(報告)より  
平成 28 年 7 月 22 日 道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議

※以下、資料を抜粋し、再編集しています。

### ●道徳科の評価の在り方

小・中学校学習指導要領第3章の「児童（生徒）の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする」との規定の趣旨や、資質・能力の三つの柱の観点から教育課程の構造化を図っている学習指導要領全体の改訂の動向を踏まえた場合、以下のことに留意する必要がある。

- |  |
|--|
| ①道徳性の育成は、資質・能力の三つの柱の土台であり目標でもある「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」に深く関わること   |
| ②したがって、道徳科で育むべき資質・能力の三つの柱や道徳的判断力、心情、実践意欲と態度のそれぞれについて分節し、観点別評価（学習状況を分析的に捉える）を通じて見取ろうとすることは、児童生徒の人格そのものに働きかけ、道徳性を養うことを目的とする道徳科の評価としては、妥当ではないこと   |
| ③そのため、道徳科については、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己（人間として）の生き方についての考えを深める」という学習活動における児童生徒の具体的な取組状況を、一定のまとまりの中で、児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を適切に設定しつつ、学習活動全体を通して見取ることが求められること |
| ④その際、個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価とすること  |
| ⑤また、他の児童生徒との比較による評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行うこと  |
| ⑥その際、道徳教育の質的転換を図るという今回の道徳の特別教科化の趣旨を踏まえれば、特に、学習活動において児童生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視することが求められること   |

### ●個人内評価として見取り、記述により表現することの基本的な考え方

- |   |
|---|
| ○道徳科において、児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子をどのように見取り、記述するかということについては、学校の実態や児童生徒の実態に応じて、指導方法の工夫と併せて適切に考える必要がある。   |
| ○児童生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうかという点については、例えば、道徳的な問題に対する判断の根拠やその時の心情を様々な視点から捉え考えようとしていることや、自分と違う意見や立場を理解しようとしていること、複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしていることを発言や感想文や質問紙の記述等から見取るという方法が考えられる。   |
| ○道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうかという点についても、例えば、読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしていることに着目したり、自らの生活や考えを見直していることがうかがえる部分に着目したりするという視点も考えられる。また、道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めているかや、道徳的価値を実現することの難しさを自分事として捉え、考えようとしているかという視点も考えられる。 |
| ○また、発言が多くない児童生徒や考えたことを文章に記述することが苦手な児童生徒が、教師の話や他の児童生徒の話に聞き入り考えを深めようとしている姿に着目するなど、発言や記述ではない形で表出する児童生徒の姿に着目するということも重要である。  |
| ○さらに、学期や年間を通じて、当初は感想文や質問紙に、感想をそのまま書いていただけであった児童生徒が、回を追うごとに、主人公に共感したり、自分なりに考えを深めた内容を書くように変化が見られたり、既習の内容と関連づけて考えている場面に着目するなど、一単位時間の授業だけでなく、児童生徒が長い期間を経て、多面的・多角的な見方へと発展していたり、道徳的価値の理解が深まったりしていることを見取るという視点もある。   |

文部科学省 教育課程部会(資料 平成 29 年 7 月 18 日)より

※以下，資料を抜粋し，下線を含め再編集しています。

## ● 観点別学習状況の評価について

◇ 学力の 3 つの要素と評価の観点との整理

【現行】「学習評価の 4 観点」	【新課程】の「学力の 3 要素」
▶ 関心・意欲・態度	▶ 知識及び技能
▶ 思考・判断・表現	▶ 思考力・判断力・表現力等
▶ 技能	▶ 主体的に学習に取り組む態度
▶ 知識・理解	

## ● 評価の三つの観点（中央教育審議会答申（抜粋）平成 28 年 12 月 21 日より）

○全ての教科等において，教育目標や内容を，資質・能力の三つの柱に基づき再整理する。これは，資質・能力の育成を目指して「目標に準拠した評価」を実質化するための取組でもある。
○観点別評価については，小・中・高等学校の各教科を通じて，「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の 3 観点到整理することとし，指導要録の様式を改善することが必要である。
○「学びに向かう力・人間性等」に示された資質・能力には，感性や思いやりなど幅広いものが含まれるが，これらは観点別学習状況の評価になじむものではないことから，評価の観点としては「主体的に学習に取り組む態度」として設定し，感性や思いやり等については観点別学習状況の評価の対象外とする必要がある。
○「学びに向かう力・人間性」には，以下の 2 つを通じて見取る部分があることに留意する必要がある。 ①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価を通じて見取る ② 観点別評価や評定にはなじまず，こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る
○これらの観点については，毎回の授業で全てを見取るのではなく，単元や題材を通じたまとまりの中で，学習・指導内容と評価の場面を適切に組み立てていくことが重要である。
○児童生徒一人一人のよい点や可能性，進歩の状況等については，日々の教育活動や総合所見等を通じて積極的に子どもに伝えることが重要である。

## ● 評価に当たっての留意点等（中央教育審議会答申（抜粋）平成 28 年 12 月 21 日より）

○学習評価の工夫改善に関する参考資料についても，詳細な基準ではなく，資質・能力を基に再整理された学習指導要領を手掛かりに，教員が評価規準を作成し見取っていくために必要な手順を示すものとなることが望ましい。そうした参考資料の中で，各教科等における学びの過程と評価の場面との関係性も明確にできるよう工夫することや，複数の観点を一体的に見取ることも考えられることなどが示されることが求められる。
○「主体的に学習に取り組む態度」については，学習前の診断的評価のみで判断したり，挙手の回数やノートを取り方などの形式的な活動で評価したりするものではない。 <u>子供たちが自ら学習の目標を持ち，進め方を見直しながら学習を進め，その過程を評価して新たな学習につなげるといった，学習に関する自己調整を行いながら，粘り強く知識・技能を獲得したり，思考・判断・表現しようとしていたりしているかどうかという，意思的な側面を捉えて評価することが求められる。</u>
○こうした姿を見取るためには，子供たちが主体的に学習に取り組む場面を設定していく必要があり，「アクティブ・ラーニング」の視点からの学習・指導方法の改善が欠かせない。

小学校及び中学校の学習指導要領等に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導等について（通知）  
（平成 29 年 7 月 7 日 文部科学省資料）より抜粋

### ● 移行期間中における学習評価の取扱い

○移行期間中における学習評価の在り方については、移行期間に追加して指導する部分を含め、現行小学校学習指導要領の下の評価規準等に基づき、学習評価を行うこととし、移行期間における外国語活動に係る指導要録の取扱いについては、次のとおりとすること。

- （１） 移行期間における第３学年及び第４学年における外国語活動に係る指導要録の取扱いについては、総合所見及び指導上参考となる諸事項を記録する欄に、児童の学習状況における顕著な事項を記入するなど、外国語活動の学習に関する所見を文章で記述すること。
- （２） 移行期間における第５学年及び第６学年における外国語活動に係る指導要録の取扱いについては、引き続き、現在の取扱いと同様とし、外国語活動の記録の欄に文章で記述すること。なお、外国語活動については、引き続き、数値による評価は行わないこととし、評定も行わないものとする。

#### 【監修者・編集協力者】

監 修	筑波大学附属小学校教諭	加藤 宣行
	東京都狛江市立狛江第三小学校校長	渡辺 秀貴
協 力	東京学芸大学附属竹早小学校教諭	竹井 秀文
	千葉大学教育学部附属教員養成開発センター教授	土田 雄一

## 指導要録 Q&A と記入文例＋特別の教科 道徳

平成 30 年 1 月 1 日 第 1 版第 1 刷発行

著作兼  
発行者 長谷川知彦  
発行所 株式会社光文書院  
〒102-0076 東京都千代田区五番町 14  
電話 03-3262-3271 (代)  
<http://www.kobun.co.jp/>